

# モロッコ王国

---

## 貧困プロフィール

2012年3月

独立行政法人 国際協力機構（JICA）

当資料は政府・国際機関の報告書・統計・資料からの抜粋を邦訳し、執務参考資料として取り纏めたものであり、JICAの見解を示すものではありません。転載・引用に際しては、直接、出典元から行い、当資料からの転載・引用は行わないでください。

基盤
JR
12-137

## 目次

I. モロッコの貧困状況の概観 .....	1
1. モロッコの貧困の状況の概観 .....	1
II. モロッコの貧困削減のための政策枠組み .....	2
1. モロッコの貧困削減戦略・目標の現状 .....	2
2. 貧困削減政策の実施状況 .....	2
III. 所得貧困による分析 .....	6
1. 貧困線とデータ .....	6
2. 貧困の状況—貧困率の分析 .....	7
3. 所得貧困等による格差の状況 .....	12
4. 格差の分析—ジニ係数、貧困ギャップ率、二乗貧困率の分析 .....	12
IV. 所得貧困以外による分析 .....	14
1. HDI による経年変化の分析と地域国際比較 .....	14
2. MDG 指標の分析 .....	16
V. 社会的属性・特性と貧困との関連の分析 .....	20
1. 社会的属性・特性による特徴（概要） .....	20
2. 地域の特性 .....	23
3. ジェンダー .....	24
4. 学歴 .....	25
5. 年齢階層別 .....	29
6. 職業別 .....	30
7. 社会サービス・基本インフラへのアクセスと貧困 .....	32
(1) 飲料水へのアクセス .....	32
(2) 下水道・ごみ処理設備へのアクセス .....	33
(3) 保健・医療サービスへのアクセス .....	33
VI. 貧困に影響を与えている国内外の要因 .....	37
1. 農業セクターの付加価値の低さ .....	37
2. 地理・自然環境的条件による影響 .....	37
3. 穀物に関する脱保護主義による貧困リスク .....	37
4. 社会不安：「アラブの春」 .....	39
VII. モロッコにおける JICA 事業の優先分野と貧困問題との関係 .....	40
1. 経済成長 .....	40
2. 経済的格差是正 .....	42
(1) 地域間格差 .....	42
(2) ジェンダー格差 .....	43
(3) 世代間格差 .....	43

(4) 民族間格差 .....	44
(5) 経済的格差と社会サービスへのアクセス .....	44
添付 1. 参考文献リスト .....	51
添付 2. 主要な情報源リスト .....	53

#### 図表・地図目次

図表 1 主要指標一覧 .....	v
図表 2 貧困率、ジニ係数等 .....	vii
図表 3 HDI 指標 .....	ix
図表 4 モロッコ、中東地域、世界の間開発指標の推移等 .....	ix
図表 5 MDG 指標 .....	x
図表 6 INDH の対象地域（都市部） .....	4
図表 7 BAJ1 実施地域及びその特徴（1994 年） .....	8
図表 8 地域別にみた貧困率の変化（2004-2007 年比較） .....	9
図表 9 相対的貧困率の推移（1985-2007 年） .....	11
図表 10 都市部・農村部における男女別にみた相対的貧困率（2001 年、2007 年） .....	11
図表 11 都市部・農村部での格差の度合いの違い .....	12
図表 12 貧困ギャップ率、二乗貧困率（1985-2007 年）（再掲） .....	13
図表 13 モロッコ人間開発指標の推移（1980-2010 年）（再掲） .....	14
図表 14 モロッコ、中東地域、世界の間開発指標の推移等（再掲） .....	15
図表 15 教育関連指標（1990-2015 年）（再掲） .....	16
図表 16 乳幼児死亡率関連指標（1982-2015 年）（再掲） .....	18
図表 17 結核等の罹患率の変化（1990-2015 年）（再掲） .....	19
図表 18 INDH の対象地域（都市部）（再掲） .....	20
図表 19 スラム街に関する状況の変化（1995-2015 年）（再掲） .....	22
図表 20 一世帯当たりの年間消費額の比較（地域別）（1991-2007 年） .....	24
図表 21 一世帯当たりの所有資産の比較（地域別） .....	24
図表 22 男女別・年齢階層別の失業率の変化（1999-2007 年） .....	25
図表 23 世帯主の学歴別にみた年間平均消費額の違い（2006/2007 年） .....	26
図表 24 世帯主の学歴別と一人あたり年間平均消費額階層の関係性（2006/2007 年） .....	27
図表 25 一人あたり年間平均消費額階層と子どもの就学率との関係性（2006/2007 年） .....	28
図表 26 世帯主の学歴別にみた一世帯当たりの所有資産の違い（2006/2007 年） ..	28
図表 27 男女別・年齢階層別の失業率の変化（1999-2007 年） .....	29

図表 28	就職状況・職業と一人あたり年間平均消費額階層との関係性(2006/2007年)	31
図表 29	BAJ1 実施地域の特徴(1994年)	32
図表 30	都市部と農村部の医療・保健サービスへの支出額(2000/2001、2006/2007年)	34
図表 31	保健・医療サービスの利用状況と一人あたり年間平均消費額階層との関係性(2006/2007年)	35
図表 32	保健・医療サービスへのアクセスと一人あたり年間平均消費額階層との関係性(2006/2007年)	36
図表 33	農業分野の成長率と実質 GDP 成長率の関係性(1981-2001年)	37
図表 34	貿易自由化の度合いによる農作物価格変化(予測値)	38
図表 35	完全貿易自由化のケースにおける地域別収入の変化	39
図表 36	農業分野の成長率と実質 GDP 成長率の関係性(1981-2001年)(再掲)	41
図表 37	地域別にみた一世帯当たりの年間消費額の違い(1991-2007年)(再掲)	45
図表 38	地域別にみた一世帯当たりの所有資産の違い(再掲)	45
図表 39	男女別・年齢階層別の失業率の変化(1999-2007年)(再掲)	46
図表 40	世帯主の学歴別と一人あたり年間平均消費額階層の関係性(再掲)	47
図表 41	一人あたり年間平均消費額階層と子どもの就学率との関係性(再掲)	48
図表 42	世帯主の学歴別にみた一世帯当たりの所有資産の違い(再掲)	48
図表 43	保健・医療サービスの利用状況と一人あたり年間平均消費額階層との関係性	49
図表 44	保健・医療サービスへのアクセスと一人あたり年間平均消費額階層との関係性	50
地図 1	モロッコ行政区画	xix
地図 2	貧困率(県別)	xx
地図 3	INDH の対象地域(農村部)	5
地図 4	貧困率(県別)(再掲)	10
地図 5	INDH の対象地域(農村部)(再掲)	21

#### 略語表

HDI	Human Development Index	人間開発指標
MDG	Millenium Development Goals	ミレニアム開発目標
UN	United Nations	国際連合(国連)
UNDP	United Nations Development Programme	国連開発計画
WB	World Bank	世界銀行(世銀)

HCP Haut Commissariat au Plan

モロッコ高等計画委員会(統計局)

INDH Initiative nationale pour le développement humain 人間開発に係る国家イニシアティブ

図表 1 主要指標一覧<sup>1</sup>

2012年1月版

主要指標一覧【モロッコ】						
	指標項目	2000年	2008年	2009年	2010年	2010年の 地域平均値
社 会 指 標 等	地表面積(1000km <sup>2</sup> )	447	447	447	447	n.a.
	人口(百万人)	28.8	31.3	31.6	32.0	382.8
	人口増加率(%)	1.2	1.0	1.0	1.0	2.0
	出生時平均余命(歳)	69	71	72	n.a.	n.a.
	妊産婦死亡率(/10万人)	160	110	n.a.	n.a.	n.a.
	乳児死亡率(/1000人)	46.2	33.0	31.7	30.4	25.6
	一人当たりカロリー摂取量(kcal/1日)*1	3,050	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	初等教育総就学率(男)(%)	100.1	112.1	111.7	115.0	n.a.
	初等教育総就学率(女)(%)	84.5	102.4	103.6	107.6	n.a.
	中等教育総就学率(男)(%)	42.5	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	中等教育総就学率(女)(%)	33.7	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	高等教育総就学率(%)	9.5	12.6	13.2	n.a.	n.a.
	成人識字率(15歳以上の人口の内:%)	n.a.	55.1	56.1	n.a.	n.a.
	絶対的貧困水準(1日1.25\$以下の人口比:%)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
失業率(%)	13.6	9.6	10.0	n.a.	n.a.	
経 済 指 標	GDP(百万USドル)	37,021	88,883	90,908	90,805	2,468,405
	一人当たりGNI(USドル)	1,310	2,540	2,770	2,850	n.a.
	実質GDP成長率(%)	1.6	5.6	4.8	3.7	3.7
	産業構造(対GDP比:%)					
	農業	14.9	14.6	16.4	15.4	n.a.
	工業	29.1	30.3	28.6	29.7	n.a.
	サービス業	56.0	55.0	55.0	55.0	n.a.
	産業別成長率(%)					
	農業	-11.9	16.4	29.7	-1.9	n.a.
	工業	4.0	2.6	-3.8	6.5	n.a.
	サービス業	5.1	4.4	1.8	3.8	n.a.
	総資本形成率(対GDP比:%)	25.5	38.1	35.6	35.1	n.a.
	貯蓄率(対GDP比:%)	20.2	24.7	24.7	25.2	n.a.
	消費者物価上昇率(インフレ:%)	1.9	3.7	1.0	1.0	n.a.
	財政収支(対GDP比:%)	n.a.	2.0	1.0	n.a.	n.a.
	中央政府債務残高(対GDP比:%)	n.a.	47.3	47.1	n.a.	n.a.
	貿易収支(対GDP比:%)	-5.4	-13.4	-11.0	-9.9	n.a.
	経常収支(対GDP比:%)	-1.3	-5.1	-5.5	-4.3	n.a.
	外国直接投資純流入額(百万ドル)	368	2,150	1,491	661	29,412
	対外債務残高(対GNI比:%)	57.3	23.8	26.5	28.1	n.a.
DSR(対外債務返済比率:%)	25.2	12.1	12.5	10.7	n.a.	
総外貨準備高(輸入支払い可能月数)	4.4	5.7	7.1	6.7	24.6	
総外貨準備高(百万ドル)	5,017	22,720	23,568	23,609	1,125,135	
名目対ドル為替レート*2	10.63	7.75	8.06	8.42	n.a.	
(Dirhams per US Dollar; Period Average)						
政*3 治 指 標	政治体制:立憲君主制。国王が最高権力者 憲法:1962年12月14日公布。96年9月13日改正。2011年7月新憲法発布 元首:国王。シディ・モハド6世(Sidi MOHAMED VI)。1999年7月23日即位 議会:二院制。上院270議席、任期9年。下院325議席、任期5年 内閣:国王が任免。首相 アブドゥルイラー・ベンキラン(Abdelilah BENKIRANE)。2012年1月3日発足					

出典 World Development Indicators Online (December 2011) World Bank

\*1 FAO Food Balance Sheets (June 2010) FAOSTAT Homepage

\*2 International Financial Statistics Online (January 2012) IMF

\*3 世界年鑑 2011 共同通信社、各国・地域情勢 2011年11月 外務省Homepage, asahi.com 2012年1月5日 朝日新聞社

注 ●地域平均値は中東・北アフリカの数値(地域分類は別添参照)

●「人口」、「GDP」、「外国直接投資純流入額」及び「総外貨準備高」の「2009年の地域平均値」においては、地域の総数を示す

●妊産婦死亡率の数値はWHO・ユニセフ・国連人口基金(UNFPA)の評価を反映した推定値

●総就学率は、学齢人口に占める就学者総数(年齢を問わない)の割合であるため、数値が100を超えることがある

<sup>1</sup> JICA 研究所ウェブサイト、<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html>、(2011/DEC/12 アクセス)

## 一般政府歳入・歳出【モロッコ】

	2007年	2008年	2009年	2009年		対ドルレート
	(十億ディルハム)	(十億ディルハム)	(十億ディルハム)	(百万US\$)*	対GDP比**	
歳入	227	264	258	32,015	35.2%	8.06
租税収入	161	196	183	22,694	25.0%	
社会保障	29	27	30	3,695	4.1%	
贈与受取	2	2	3	348	0.4%	
その他	35	39	43	5,290	5.8%	
歳出	180	204	203	25,198	27.7%	732
人件費	89	96	106	13,193	14.5%	
財貨・サービス	21	21	21	2,664	2.9%	
固定資本消耗	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	
利払い	12	9	8	1,033	1.1%	
補助金	16	31	13	1,587	1.7%	
贈与支払	0	0	0	0	0.0%	
扶助費	24	28	28	3,434	3.8%	
その他	17	19	26	3,287	3.6%	
非金融資産の純増	28	38	43	5,371	5.9%	
財政収支	19	22	12	1,446	1.6%	

## 総支出内訳(目的別分類)【モロッコ】

	2007年	2008年	2009年		2009年	
	(十億ディルハム)	(十億ディルハム)	(十億ディルハム)	内訳	(百万US\$)*	対GDP比**
総支出	208	242	246	100.0%	30,569	33.6%
一般サービス	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
国防	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
公安	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
経済関連	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
農林水産業	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
エネルギー	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
鉱工業・建設業	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
運輸	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
通信	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
環境保全	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
住宅・生活関連施設	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
保健・医療	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
レクリエーション・文化	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
教育	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
社会保障・福祉	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.

注: 総支出内訳における総支出には非金融資産の純増を含む 会計年度は1月～12月

\*: 対ドル換算レートはOfficial Rate, Period Average 出典はInternational Financial Statistics (Online) January 2012 IMF

\*\*: GDPの出典はThe World Economic Outlook September 2011 IMF Homepage

出典: Government Finance Statistics (CD-ROM) September 2011 IMF

## JICAの対モロッコ技術協力

通貨単位	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	累計
億円	9.32	8.09	6.39	8.50	7.87	324.24
百万ドル	8.01	6.86	6.18	9.08	8.96	

注: 年の区切りは日本の会計年度(4月～3月), また対ドル換算レートはOECD Homepageによる

出典: JICA技術協力実績

## 対モロッコODA実績

## 《我が国》

(支出総額, 単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等	無償資金協力	技術協力	合計
2005年	-69.43	2.22	13.02	-54.19
2006年	43.76	8.44	8.93	61.13
2007年	49.71	6.01	8.93	64.65
2008年	82.83	16.85	6.16	105.84
2009年	85.05	4.77	8.12	97.93
累計	777.94	265.74	278.02	1,321.74

## 《DAC諸国・国際機関》

(支出総額, 単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2006年	フランス 301.41	ドイツ 104.49	スペイン 73.25	日本 61.13	ベルギー 10.26	61.13	566.69
2007年	フランス 218.77	ドイツ 142.82	スペイン 84.82	イタリア 83.75	日本 64.65	64.65	627.93
2008年	フランス 163.21	スペイン 117.36	日本 105.84	ポルトガル 95.30	ドイツ 90.60	105.84	611.77

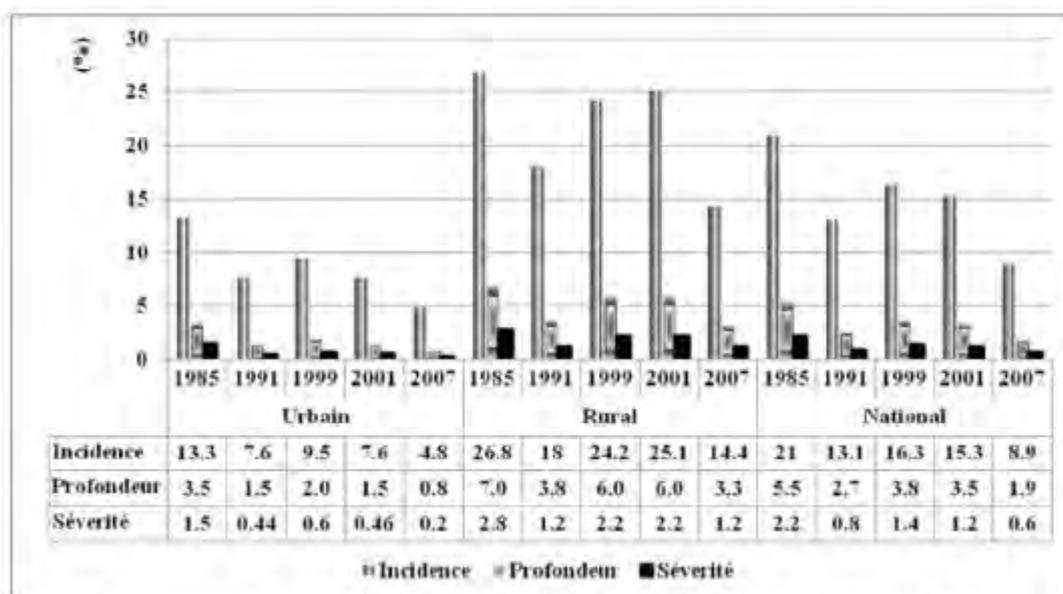
暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2006年	CEC 338.70	GFATM 2.41	UNFPA 2.25	UNTA 1.68	UNICEF 1.61	14.16	360.81
2007年	CEC 307.13	GFATM 5.26	GEF 3.28	UNTA 2.75	UNFPA 1.85	6.83	327.10
2008年	CEC 483.76	IFAD 5.42	GFATM 5.22	UNFPA 1.70	UNDP 1.37	26.66	524.13

注: 年の区切りは1月～12月の暦年。DAC集計ベース

出典: ODA国別データブック 2010 外務省

## 図表 2 貧困率、ジニ係数等<sup>2</sup>

Graphique 3 : Evolution des indices de pauvreté monétaire par milieu de résidence  
Maroc 1985-2007



Source : HCP, données de base des ENCDM 1984/85 et 2000/01 et des ENNVN 1990/91, 1998/99 et 2006/07.

Tableau 1 : Evolution des indicateurs de pauvreté, d'inégalité et de bien-être, 1985-2004

Indicateurs	1985	1991	1994	1999	2001	2004	2007
Taux de vulnérabilité en % (*)	24,1	22,0	22,8	23,8	22,7	17,3	
Taux de pauvreté en %	21,1	13,1	16,5	16,3	15,3	14,2	8,9
Inégalité de la pauvreté	0,023	0,081	0,043	0,016	0,012	0,017	
Part des 10% supérieur (**)	31,8	30,8	-	31,0	32,1	-	
Part des 10% inférieur (**)	2,6	2,8	-	2,6	2,6	-	
Indice de Gini	0,397	0,392	-	0,395	0,406	-	
Ratio de bien-être	2,142	2,394(***)	-	2,284	2,492	-	

Sources : Haut Commissariat au Plan, Enquêtes sur la consommation de 1984/85 et 2000/01, sur le niveau de vie 1990/91 et 1998/99 et Cartes de la pauvreté de 1994 et 2004. Notes : (\*) Le taux de vulnérabilité correspond ici à la proportion de la population qui n'est pas pauvre, mais qui court un grand risque de pauvreté; c'est l'ensemble des individus dont le ratio de bien-être est dans un rapport de 1 à 1,5 fois le seuil de pauvreté. (\*\*) Il s'agit de la part (en %), dans la masse globale des dépenses de consommation, des 10% les plus aisés (10% supérieur) et des 10% les plus pauvres (10% inférieur). (\*\*\*) Donnée considérée surestimée en comparaison avec les données de la Comptabilité nationale, par l'étude Analyse du profil et de la dynamique de la pauvreté : un fondement de l'atténuation des dénuements (HCP, 2000).

<sup>2</sup> HCP(n.d.), Dynamique de la pauvreté 1985-2007, p.11, 17, 52. <http://www.hcp.ma/file/111923/> (2011/DEC/12 アクセス)

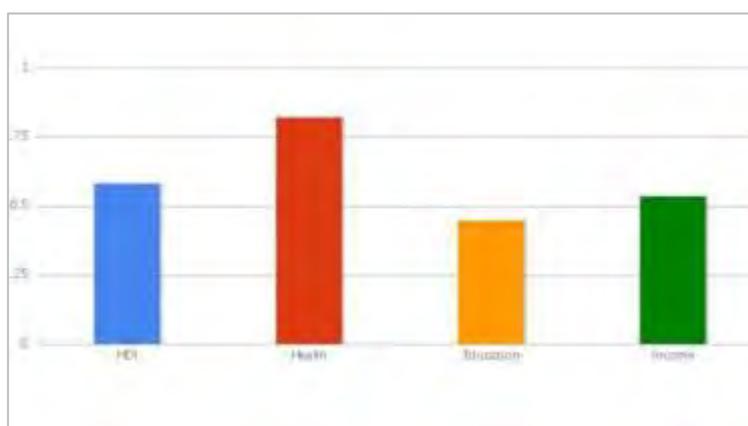
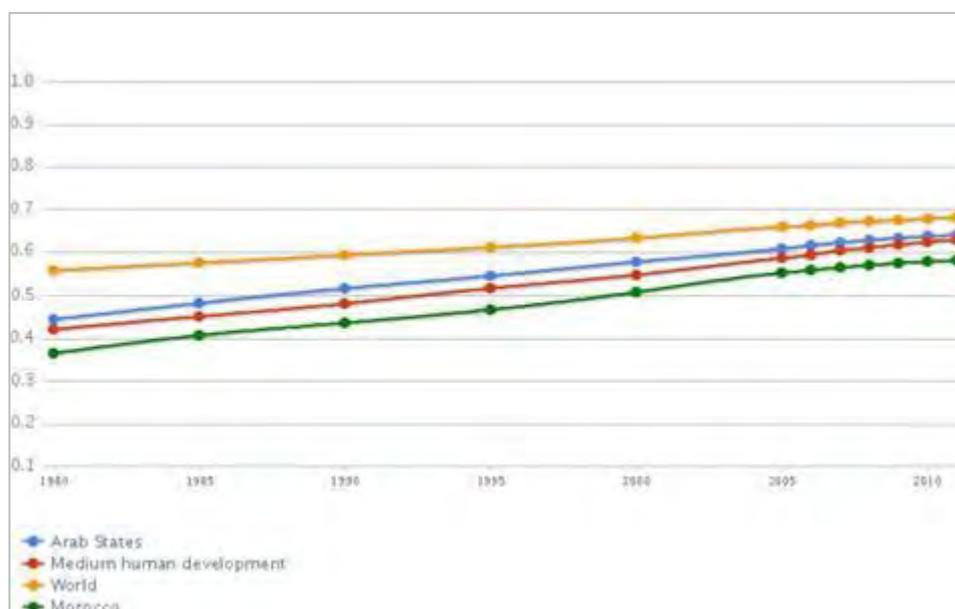
Tableau 03: Classement des régions selon la baisse totale du taux de pauvreté entre 2004 et 2007

Région	Taux de pauvreté		Baisse totale (%)
	2004	2007	
Laâyoune-Boujdour-Sakia El Hamra	6.3	2.2	-65.9
Oriental	17.9	10.1	-43.9
Chaouia-Ourdigha	13.5	7.6	-43.6
Marrakech-Tensift-Al Haouz	19.2	11.2	-41.8
Tanger-Tétouan	12.4	7.4	-39.8
Rabat-Salé-Zemmour-Zaer	8.1	5.1	-36.6
Fès-Boulemane	19.5	12.5	-36.1
Tadla-Azilal	14.4	9.3	-35.6
Souss-Massa-Daraa	18.9	12.5	-33.9
Meknes-Tafilalet	14.2	9.5	-33.2
Taza-Al hoceima-Taounate	14.5	10.7	-26.4
Guelmim-Es-smara	13.1	9.7	-26.3
Gharb-Chrarda-Beni Hssen	20.5	15.6	-23.9
Doukala-Abda	15.6	14.3	-8.3
Oued Ed-dahab-Lagouira	2.8	2.6	-7.7
Grand-Casablanca	3.5	3.2	-7.0

図表 3 HDI 指標<sup>3</sup>

HDI Rank(2011) :130	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
HDI Index	0.364	0.406	0.435	0.466	0.507	0.552	0.559	0.565	0.57	0.575	0.579	0.582
Education Index	0.181	0.23	0.254	0.299	0.354	0.418	0.422	0.433	0.437	0.442	0.447	0.447
Health Index	0.6	0.65	0.7	0.74	0.77	0.8	0.8	0.81	0.81	0.81	0.82	0.82
Income Index	0.448	0.447	0.466	0.46	0.479	0.507	0.516	0.518	0.524	0.528	0.531	0.535

図表 4 モロッコ、中東地域、世界の人間開発指標の推移等<sup>4</sup>



<sup>3</sup> UNDP ウェブサイト、International Human Development Indicators、  
<http://hdrstats.undp.org/en/indicators/103106.html> (2011/DEC/09 アクセス) (表は MURC 作成)

<sup>4</sup> UNDP ウェブサイト、International Human Development Indicators

図表 5 MDG 指標<sup>5</sup>

Evolution des indicateurs						
Cibles	Indicateurs	Désagrégation	1990	2001	2007	2015
<b>Cible 1 :</b> Réduire de moitié, entre 1990 et 2015, la proportion de la population dont le revenu est inférieur à 1 \$ US par jour en PPA	- Proportion de la population disposant de moins de 1 \$ US par jour en PPA (en %)	Ensemble	3,5	2	0,6	1,75
		Masculin	3,5	2	0,5	
		Féminin	3,5	2	0,6	
		Urbain	1,2	0,3	0,1	
Rural		5,7	4,0	1,2		
	- Indice d'écart de la pauvreté	Ensemble	0,0271	0,0346	0,0192	
	- Part du cinquième le plus pauvre de la population dans la consommation finale	Ensemble	6,6	6,5	6,5	
<b>Cible 1bis :</b> Accès à un emploi productif et à un travail décent pour tous y compris les femmes et les jeunes	- Taux de croissance moyen annuel du PIB par personne employée (en %)			(2000-2004) 4,3	(2000-2007) 3,72	
	- Taux d'activité de la population (15 ans et plus) (en %)	Ensemble		51,3	51,0	
		Féminin		25,5	27,1	
		Masculin		77,9	76,1	
	- Proportion de salariés vivant avec moins de 1\$ (PPA) par jour (en %)			(2001) 0,3	0,2	
	- Proportion des indépendants dans la population active occupée (en %)	Ensemble			25,8	28,3
Féminin				12,1	13,4	
Masculin				30,5	33,9	
- Proportion des aides familiales dans la population active occupée (en %)	Ensemble			30,4	25,4	
	Féminin			53,5	51,5	
	Masculin			22,4	15,6	
<b>Cible 2 :</b> Réduire de moitié, entre 1990 et 2015, la proportion de la population qui souffre de la faim	- Proportion d'enfants de moins de 5 ans présentant une insuffisance pondérale (en %)	Ensemble	(1992) 9,0	(2003) 10,2		4,5
		Masculin	9,5	10,4		
		Féminin	8,4	10,0		
		Urbain	3,3	6,5		
		Rural	12,0	14,0		
	- Proportion de la population n'atteignant pas le niveau minimal d'apport calorique (en %)	Ensemble	(1985) 4,6	(2003) 1,8	0,9	2,3
	Masculin	4,6	1,8	0,8		
	Féminin	4,6	1,8	1,0		
	Urbain	2,4	0,3	0,1		
	Rural	6,2	3,7	2,0		
<b>Cible 3 :</b> Réduire de moitié, entre 1990 et 2015, la proportion de la population dont le revenu est inférieur à 2 \$ US par jour en PPA	- Proportion de la population disposant de moins de 2 \$ US par jour en PPA (en %)	Ensemble	30,4	(2001) 20,2	8,2	15,2
		Urbain	13,3	8,7	3,6	
		Rural	54,5	34,2	14,3	
<b>Cible 4 :</b> Réduire de moitié, entre 1990 et 2015, la proportion de la population se trouvant dans la pauvreté absolue, relative et dans la vulnérabilité	- Taux de pauvreté absolue (en %)	Ensemble	(1985) 12,5	(2004) 7,7	3,9	6,2
		Urbain	6,8	3,5	1,3	
		Rural	18,8	12,8	7,2	
	- Taux de pauvreté relative (en %)	Ensemble	(1985) 21,0	(2004) 14,2	9,0	10,5
		Urbain	13,3	7,9	4,8	
		Rural	26,8	22,0	14,5	

<sup>5</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, pp. 23-24, 28, 33-34, 37, 41, 45, 50, 54

<http://www.undg.org/docs/9793/Rapport-OMD-Maroc-2007.pdf> (2011/DEC/12 アクセス)

<i>Cibles</i>	<i>Indicateurs</i>	<i>Désagrégation</i>	<i>1990</i>	<i>2001</i>	<i>2007</i>	<i>2015</i>
<b>Cible 5 :</b> Réduire de moitié, entre 1990 et 2015, les inégalités dans les dépenses de consommation.	- Part, dans les dépenses totales, des 50% les moins aisés de la population (en %)	Ensemble	(1985) 24,2	23,4	23,6	-
		Urbain	23,5	24,2	27,7	-
		Rural	28,8	28,7	23,7	-
	- Part, dans les dépenses totales, des 10% les plus aisés de la population (en %)	Ensemble	(1985) 31,7	32,1	33,1	-
		Urbain	31,8	30,9	33,7	-
		Rural	25,3	25,9	25,9	-
	- Part, dans les dépenses totales, des 10% les moins aisés de la population (en %)	Ensemble	(1985) 2,6	2,6	2,6	-
		Urbain	2,4	2,8	2,7	-
		Rural	3,2	3,4	3,2	-
<b>Cible 6 :</b> Réduire de trois quarts d'ici 2015 l'exclusion sociale	- % population urbaine logée dans les bidonvilles ou dans un habitat sommaire		(1994) 9,2	(2004) 8,2	6,5	
	- Taux de chômage en milieu urbain		15,8	19,5	15,4	
	- Taux d'accès à l'assurance maladie			(2000) 16,2	33,0	
	- Part des personnes handicapées dans la population (en %)			(2004) 5		

### Evolution des indicateurs

Cibles	Indicateurs	1990	1994	2004	2007	2015
<b>Cible 7 :</b> D'ici à 2015, généraliser la scolarisation des filles et des garçons dans le préscolaire	- Taux nets de scolarisation au préscolaire 4-5 ans (1991)					
	Ensemble	40,5	39,4	50,1	59,7	100
	Masculin	55,2	54,5	60,2	68,2	100
	Féminin	25,1	23,6	39,6	51,0	100
<b>Cible 8 :</b> D'ici à 2015, donner à tous les enfants, garçons et filles les moyens d'achever un cycle complet d'études primaires	- Taux nets de scolarisation dans le primaire (6-11 ans) (1991)					
	Ensemble	52,4	60,2	87,0	93,5	100
	Masculin-urbain	77,5	84,2	91,2	95,0	100
	Féminin-urbain	71,7	79,8	89,8	92,1	100
	Masculin-rural	48,8	55,7	88,5	94,6	100
	Féminin-rural	22,5	30,1	78,5	87,7	100
	- Proportion d'écopliers commençant la 1ère année d'étude dans l'enseignement primaire et achevant la 5ème année			(2005)	(2006)	
	Ensemble			68,6	70,8	100
	Masculin			68,8	70,4	100
	Féminin			68,1	70,9	100
<b>Cible 9 :</b> D'ici à 2015, donner à tous les enfants, garçons et filles les moyens d'achever un cycle complet d'études collégiales	- Taux nets de scolarisation dans l'enseignement secondaire collégial (12-14 ans) (1991)					
	Ensemble	17,5	20,2	31,9	43,4	100
	Masculin-urbain	39,5	43,1	51,4	65,4	100
	Féminin-urbain	31,9	37,5	52,3	65,6	100
	Masculin-rural	3,4	4,6	14,3	21,2	100
	Féminin-rural	1,1	1,6	8,9	15,6	100
	- Proportion d'écopliers commençant la 1ère année d'étude dans l'enseignement collégial et achevant la 3ème année			(2005)	(2006)	
	Ensemble			79,7	78,6	100
	Masculin			75,8	74,9	100
	Féminin			84,2	82,9	100
<b>Cible 10 :</b> D'ici à 2015, éradiquer l'analphabétisme des hommes et des femmes âgés de 10 à 25 ans et réduire de moitié, par rapport à 1990, le taux global d'analphabétisme (10 ans et plus)	- Taux d'alphabétisation de la population âgée de 10 ans et plus (1982)					
	Ensemble	45,3	45	57	58,8	80,2
	Masculin	60,5	59	69,2	70,6	-
	Féminin	31,7	33	45,3	47,4	-
	Urbain	63,3	63	70,6	71,0	-
	Rural	28,2	25	39,5	41,9	-
	- Taux d'alphabétisation de la population âgée de 15-24 ans (1982)					
	Ensemble	62,4	58	70,5	76,0	100
	Masculin	78,0	71	80,8	84,4	100
	Féminin	48,5	46	60,5	67,5	100

<b>Cibles</b>	<b>Indicateurs</b>	<b>1990</b>	<b>2007</b>	<b>2015</b>
<b>Cible 11.</b> Éliminer les disparités entre les sexes dans les enseignements primaire et secondaire d'ici à 2015 si possible et à tous les niveaux de l'enseignement en 2015 au plus tard.	- Rapport filles/garçons dans l'enseignement :	(1990-91)		
	Primaire	66	87	
	Collège	69	81	
	Lycée	66	94	
	Supérieur	56	84	
<b>Cible 12.</b> Éliminer les disparités hommes-femmes en matière d'accès aux différents emplois.	- Taux de féminisation de la population active occupée selon les différentes branches d'activité :	(2000)		
	* Agriculture, forêt et pêche	36,2	39,1	
	* Industrie (y compris artisanat)	37,6	31,7	
	* BTP	0,7	0,8	
	* Commerce	7,6	9,0	
	* Transport, entrepôt et communication	4,4	7,4	
	* Réparation	0,1	0,6	
	* Administration générale	18,5	18,7	
	* Service fournis à la collectivité	34,5	38,6	
	* Autres services	32,1	28,9	
	- Taux de féminisation de la population active occupée selon le statut socio- professionnel :			
	* Salariés	22,1	20,7	
	* Indépendant	14,3	13,8	
	* Employeurs	6,6	6,8	
	* Aide familiale	48,7	54,6	
* Apprenti	14,9	10,8		
* Associé ou membre de coopérative	7,5	10,3		
* Autres statut	33,7	40,8		
* Non déclaré	-	-		
- Proportion des femmes salariées dans le secteur non agricole (urbain)	(2000)	75,4	83,5	
- Proportion des femmes salariées dans le secteur non agricole (rural)	(2000)	28,0	44,8	
- Proportion des femmes parmi les chômeurs	(2000)	25,7	27,3	

<b>Cibles</b>	<b>Indicateurs</b>	<b>1990</b>	<b>2007</b>	<b>2015</b>
<b>Cible 13.</b> Atteindre le tiers dans les instances dirigeantes des pouvoirs législatifs, exécutif et judiciaire	- Proportion de sièges occupés par les femmes au parlement	(1997) 0,7	10,5	
	- Proportion de femmes parmi les Ministres	5,1	20,6	
	- Proportion des femmes dans la magistrature	19	19,4	
	- Proportion de femmes cadres supérieurs et membres des professions libérales	25,3	(2002) 25,7	
	- Proportion de femmes parmi les directeurs dans l'administration publique	9,8	(2004) 11,1	
<b>Cible 14.</b> Réduire de moitié la violence à l'égard des femmes.	- Nombre d'affaires où la femme est partie plaignante dans les tribunaux de Casablanca		(1999) 5368	
	- % d'hommes accusés dans ces affaires		(1999) 78	

<i>Cibles</i>	<i>Indicateurs</i>		<b>1982 1991</b>	<b>1994 2003</b>	<b>2015</b>
<b>Cible 15.</b> Réduire de deux tiers, entre 1990 et 2015, le taux de mortalité des enfants de moins de 5 ans	Taux de mortalité des enfants de moins de 5 ans (‰)	Ensemble Garçons Filles Urbain Rural	76 (*) 88 80 59 98	47(**) 59 48 38 69	19 22 20 15 25
	Taux de mortalité infantile (‰)	Ensemble Garçons Filles Urbain Rural	57(*) 69 57 52 69	40(**) 51 37 33 55	14 17 14 13 17
	Taux de mortalité néonatale (‰)	Ensemble Garçons Filles Urbain Rural	31(*) 39 29 30 36	27(**) 33 23 24 33	7 10 7 7 9
	Taux de mortalité juvénile (‰)	Ensemble Garçons Filles Urbain Rural	20(*) 20 24 7 31	7(**) 8 11 5 15	4 4 6 2 7
	Proportion des enfants ayant fait toutes les vaccinations (%)	Ensemble Garçons Filles	(1992) 75,7 75,5 76,0	(2003-2004) 89,1 86,8 91,2	95,0 95,0 95,0
	Taux de glissement entre la 1ère et la 3ème prise (DTCoq et Polio) (%)	Ensemble Garçons Filles	(1992) 12,4 12,9 11,9	(2003-2004) 2,7 2,5 2,8	< 4
	Proportion d'enfants vaccinés contre la rougeole (%)	Ensemble Garçons Filles	(1992) 79,8 79,7 79,9	(2003-2004) 90,4 88,2 91,2	95,0 95,0 95,0
	Taux d'allaitement maternel exclusif à 6 mois (%)	Ensemble	(1992) 51	(2003-2004) 32	

(\*) 1987 - 1991  
(\*\*) 1999 - 2003

<b>Cibles</b>	<b>Indicateurs</b>	<b>Milieu</b>	<b>1987-1991</b>	<b>1999-2003</b>	<b>2007*</b>	<b>2015</b>
<b>Cible 16.</b> Réduire de trois quarts, entre 1990 et 2015, le taux de mortalité maternelle	Taux de mortalité maternelle (pour 100 000 naissances vivantes)	Ensemble Urbain Rural	(1985-1991) 332 284 362	(1995-2003) 227 187 267		50 40 60
	Proportion de femmes ayant fait au moins une consultation prénatale (%)	Ensemble Urbain Rural	33 61 18	68 85 48		80 95 60
	Proportion d'accouchements assistés par du personnel qualifié (%)	Ensemble Urbain Rural	31 64 14	63 85 40	59,4	80 95 60
	Taux de césarienne(%)			5,4	5,7	8,9
	Proportion de femmes ayant fait au moins une consultation post-natale (%)	Ensemble Urbain Rural		65 87 42		80 95 60
<b>Cible 17.</b> Veiller à une santé de la reproduction où les décisions se prennent de manière conjointe par les femmes et les hommes	Part des accouchements espacés entre 7 et 17 mois (%)	Ensemble Urbain Rural	10,4 10,3 10,5	7,2 5,6 8,6		
	Taux d'utilisation de la contraception	Ensemble Urbain Rural	(1992) 42 55 32	(2003-2004) 63 66 60		65 65 65
	Besoins non satisfaits de planification familiale (%)			(2003-2004) 10		

2007\*=Les données de 2007 n'incluent pas le secteur privé

<b>Cibles</b>	<b>Indicateurs</b>	<b>1990</b>	<b>1995</b>	<b>2000</b>	<b>2005</b>	<b>2010</b>	<b>2015</b>
<b>Cible 18.</b> D'ici 2015, avoir stoppé la propagation du VIH/SIDA et commencer à inverser la tendance	1. Séroprévalence au VIH pour les femmes enceintes (%)	-	(1994) 0,03	(1999) 0,07	0,06		
	2. Taux d'utilisation de la contraception chez les femmes mariées âgées de 15-49 ans (%)	(1992) 42	(1997) 58	-	(2003-04) 63		65
	3. Part de l'utilisation du préservatif dans la contraception (%)	(1992) 2	(1997) 3	-	(2003-04) 3		
<b>Cible 19.</b> D'ici 2015, avoir éliminé le paludisme en 2006	Taux d'incidence du paludisme autochtone (pour 100 000 habitants)		Homme Femme Ensemble	7,0 5,0 6,2	1,2 1,4 1,3	0,02 0,02 0,02	(2006) 0 0 0
	Incidence du paludisme importé de l'étranger (nombre de nouveaux cas)	(1992) 54	33	56	(2006) 83		
<b>Cible 20.</b> Avoir maîtrisé la tuberculose et commencer à inverser la tendance actuelle	Taux d'incidence de la tuberculose (pour 100 000 habitants)	113	(1996) 118	106	(2006) 85	72	50

<b>Cibles</b>	<b>Indicateurs</b>	<b>1995</b>	<b>2000</b>	<b>2006</b>	<b>2015</b>
<b>Cible 21.</b> Intégrer les principes du développement durable dans les politiques nationales et veiller à la préservation de la biodiversité en inversant la tendance à la déperdition des ressources environnementales	Proportion des zones forestières	12,7	12,7		
	Superficies annuelles moyennes reboisées (ha)	20 000	20 000	33 000	
	Superficie des aires protégées pour préserver la biodiversité (ha)	(1991) 49 000	(2001) 545 000	(2005) parcs nationaux 606 000	
<b>Cible 22.</b> limiter les émissions des gaz nocifs à la santé et à l'environnement.	Émissions de dioxyde de carbone en tonnes E-CO <sub>2</sub> par habitant	(1994) 1,84	(1999) 1,93		
	Émissions des substances appauvrissant la couche d'ozone (tonnes)	(1996) 814		(2001) 435	
	PIB par unité d'énergie consommée (\$US PPA par kg équivalent pétrole)	(1990) 10,2	(2001) 9,9		5,1*
<b>Cible 23.</b> Réduire de moitié, entre 1990 et 2015, les pourcentages de la population qui n'a pas accès de façon durable à un approvisionnement en eau de boisson salubre et à un meilleur système d'assainissement	Proportion de la population branchée au réseau ou ayant accès à une source d'eau salubre	(1994)		(2007)	
	Urbain Rural	74 14	88 43	100 85	100 100
	Proportion des ménages urbains ayant accès à un réseau d'évacuation des eaux usées	(1994) 74,2		85,6	100
<b>Cible 24.</b> Éliminer, d'ici 2020, en milieu urbain toutes les formes d'habitats qui ne répondent pas aux critères de sécurité	Proportion de la population urbaine habitant les bidonvilles et l'habitat sommaire	(1994) 9,2		(2007) 6,5	
	Ménages urbains propriétaires de leur logement (en %)	(1994) 48,5		64,5	

\* en \$ US

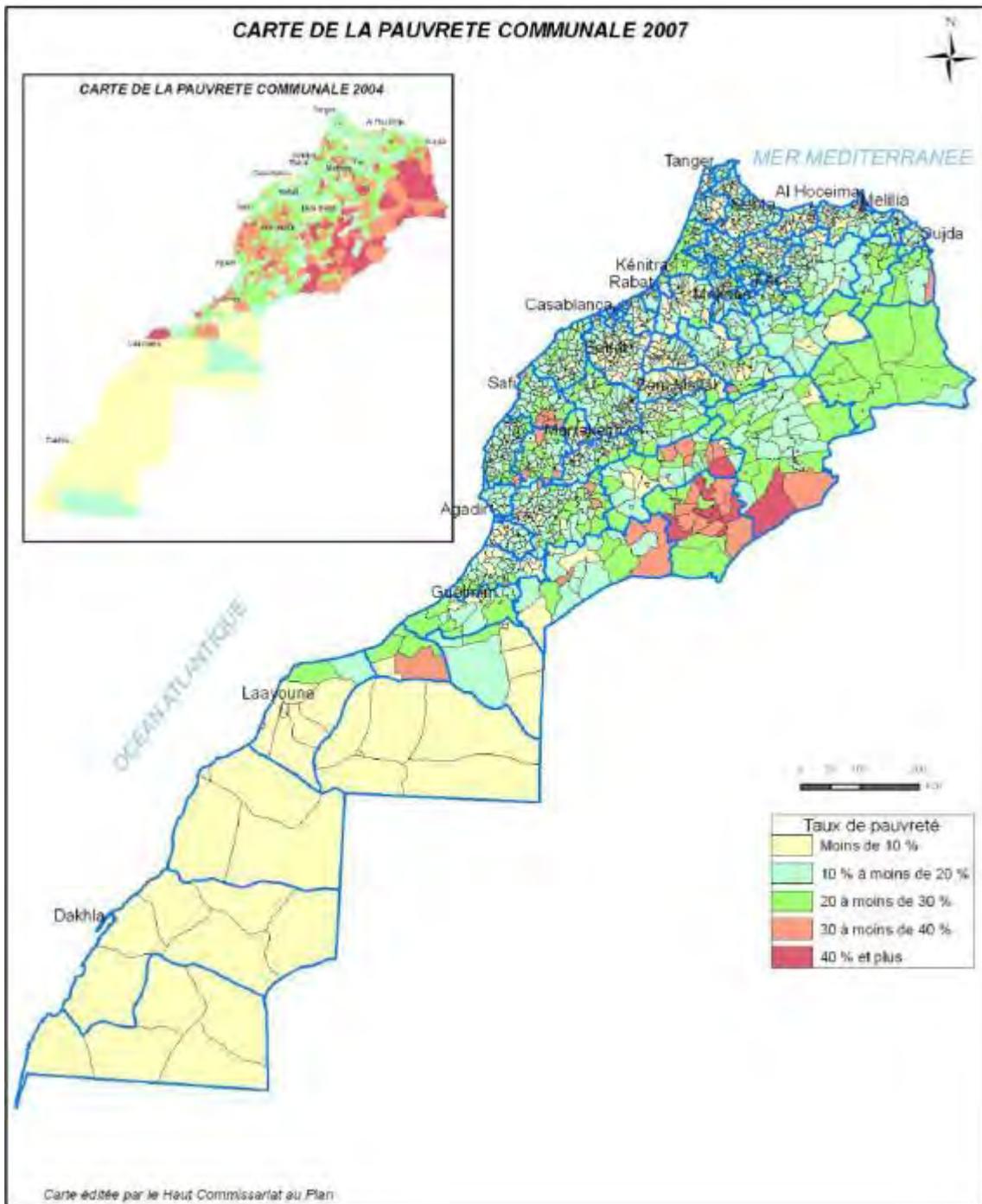
<b>Cibles</b>	<b>Indicateur</b>	<b>1990</b>	<b>2000</b>	<b>2006</b>	<b>2015</b>
<p><b>Cible 25 :</b> Poursuivre la mise en place d'un système commercial et financier multilatéral ouvert, fondé sur des règles, prévisible et non discriminatoire Cela suppose un engagement en faveur d'une bonne gouvernance, du développement et de la lutte contre la pauvreté, aux niveaux tant national qu'international</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- APD nette, en % du PNB des pays donateurs (cible : 0,7%)</li> <li>- Proportion de l'APD consacrée aux services sociaux de base</li> </ul>	(1990-96) 18,9	(1997-2001) 14,8	0,22 0,31	
<p><b>Cible 26 :</b> Traiter globalement le problème de la dette des PED, par des mesures d'ordre national et international propres à rendre leur endettement viable à long terme</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Service de la dette extérieure en % des exportations de biens et services non-facteurs</li> </ul>	31,6		(2007) 8,9	
<p><b>Cible 27 :</b> En coopération avec les pays en développement, formuler et appliquer des stratégies qui permettent aux jeunes de trouver un travail décent et utile</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Taux de chômage de 15 à 24 ans</li> <li>Ensemble</li> <li>Masculin</li> <li>Féminin</li> </ul>		19,9 21,4 16,1	(2007) 17,2 17,8 15,5	
<p><b>Cible 28 :</b> En coopération avec le secteur privé, faire en sorte que les avantages des nouvelles technologies, en particulier des technologies de l'information et de la communication, soient accordés à tous</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Nombre de lignes téléphoniques pour 1000 habitants</li> <li>- Nombre de micro-ordinateurs pour 1000 habitants</li> <li>- Nombre d'abonnés mobiles pour 1000 habitants</li> <li>- Nombre d'utilisateurs d'Internet (en millions)</li> <li>- Nombre de ménages disposant d'un accès Internet à domicile (pour 1000 habitants)</li> </ul>		(2004) 44 21 312 3,5 21	42,4 34 535 6,1 70	

地図 1 モロッコ行政区画<sup>6</sup>



<sup>6</sup> UNDP ウェブサイト、<http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/morocco.pdf> (2011/DEC/09 アクセス)

地図 2 貧困率（県別）<sup>7</sup>



<sup>7</sup> HCP(2010), Carte de la pauvreté 2007, p.82 <http://www.hcp.ma/file/111925/> (2011/DEC/09 アクセス)

## I. モロッコの貧困状況の概観

### 1. モロッコの貧困の状況の概観

モロッコでは、近年、経済発展、地方整備が進み、中央一極集中型の国土開発が緩和されてきた。人口は3,200万人程度であるが1994-2007年間の人口増加率は1%強とされている<sup>8</sup>。

EU等、西側諸国との関係性も良好で国外からの投資も堅調であり、経済成長は1998年以降、年平均4%水準で推移している。非農業分野の生産性も1998-2006年に2.3%上昇する等産業部門の多角的な成長がみられるようになっている<sup>9</sup>。

このような経済成長に裏打ちされるように、失業率も1999年の13.8%から2008年第一四半期の9.6%と改善している<sup>10</sup>。2011年第一四半期においては、8.7%（都市部13.0%、農村部4.0%）とさらに失業率が減少している<sup>11</sup>。

しかし、都市化に伴うスラム問題、農村部での開発の遅れ、2010年から続く「アラブの春」の動き等、貧困問題とそれに関連する社会不安が継続している状況である。

その他にも、改善の兆しがみられるものの性別による格差や学歴による格差等も根強く残っており、今後の改善が期待される状況にある。

以上のような状況を踏まえ、モロッコ政府は国家予算の多くを社会保障や福祉政策を含む社会開発関連のプログラムに投じ、安定的な社会づくりを目指している<sup>12</sup>。

---

<sup>8</sup> Royaume du Maroc(2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 8  
<http://www.undg.org/docs/9793/Rapport-OMD-Maroc-2007.pdf>

<sup>9</sup> Royaume du Maroc(2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 11

<sup>10</sup> Royaume du Maroc(2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 12

<sup>11</sup> INAC-HCP(Institut National d'Analyse de la Conjoncture, Haut Commissariat au Plan)(2011), NOTE DE CONJONCTURE N°18, pp. 45-47

[http://www.hcp.ma/Note-de-conjoncture-N-18-Juillet-2011\\_a757.html](http://www.hcp.ma/Note-de-conjoncture-N-18-Juillet-2011_a757.html) (2011/DEC/09 アクセス)

<sup>12</sup> Royaume du Maroc(2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 12

## II. モロッコの貧困削減のための政策枠組み

### 1. モロッコの貧困削減戦略・目標の現状<sup>13</sup>

モロッコ政府-UN（2006）によると、モロッコは PRSP の策定を義務付けられていないものの、政府による独自の貧困削減に向けた政策枠組みを導入している。本項では、この貧困削減戦略・目標等について下記の通り整理する。

2005 年 5 月、現国王であるモハメド 6 世により INDH(Initiative nationale pour le développement humain)「人間開発に係る国家イニシアティブ」が発表された。同イニシアティブは、人間開発を中心とした貧困削減と地域間格差等の様々な社会的格差を是正することを目標に掲げている。

同イニシアティブは、2005-2010 年を対象期間として定められたものであり、2000 年の国連ミレニアム宣言を受け、UNDP が推進する調和の取れた開発と投資の内容を反映させて作成された。2011 年にはその延長である INDH II が 5 カ年計画として発表され、モロッコ政府は貧困削減と社会的格差是正に対して継続して取り組む姿勢を見せている。

モロッコ政府では、INDH の策定にあたり、MDGs の重点項目の内、開発プロセスに女性の参加を促すことと、女性の役割を重要なものと位置づけることを特に重視している。参加型のアプローチや状況分析に効果的にジェンダーの視点を取り入れることを明示している。また、国連をはじめとする様々なパートナーとの共同研究や開発事業に取り組むことも打ち出している。

その結果、29 の具体的な目標設定を行い、それぞれの目標に対し、合計 89 の指標を設けている。この内、11 の目標に関する 41 の指標を特にモロッコ政府として重視する項目として取り上げている。重点キーワードとしては、「人権」、「民主主義」、「女性と児童の権利」、「産業の高度化」、「バランスの取れた国土開発」等があげられる。

現在も、貧困削減、格差是正等に向けた施策が継続的に実行されている。

### 2. 貧困削減政策の実施状況<sup>14</sup>

貧困削減との関係においては、2005 年のイニシアティブ策定時に、特に下記のような点が社会問題として認識されていた。

<sup>13</sup> Royaume du Maroc- UN(2006), PLAN-CADRE DES NATIONS UNIES AU MAROC 2007-2011 BILAN COMMUN DE PAYS, p. 16, 28 <http://www.undg.org/docs/7451/Morocco%20UNDAF.pdf> (2011/DEC/09 アクセス)

<sup>14</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, pp. 19-35 [http://www.indh.gov.ma/fr/doc/RAPPORT\\_DACTIVITE\\_INDH\\_2005\\_2010.pdf](http://www.indh.gov.ma/fr/doc/RAPPORT_DACTIVITE_INDH_2005_2010.pdf) (2011/DEC/09 アクセス)

#### 【INDH 策定時点における主な社会問題】

- ・ 都市部における住民の 2%程度が貧困層であること。
- ・ 農村部における住民の 20%強が絶対的貧困ライン以下で生活をしていること(年間 1 人あたり 3,500 ディラハム (MAD) <sup>15</sup>)。
- ・ 約 400 万人がスラム化した地域に不法に生活をしていること

これらの社会問題を踏まえ、貧困削減や社会的排除問題への対策に向け、所得創出・職業訓練プログラム、基礎インフラ・社会サービスへのアクセス改善プログラム、キャパシティ・ビルディングプログラム、社会福祉サービス整備プログラム等が実施されてきた<sup>16</sup>。

#### 【INDH 以降実施されてきた 4 大重点プログラム】

- ・ 都市部：社会的格差対策プログラム (36 都市 264 地域にて実施) <sup>17</sup>
- ・ 農村部：貧困対策プログラム (53 県 403 市町村にて実施) <sup>18</sup>
- ・ その他貧困対策プログラム
- ・ セクター横断的プログラム

特に、住民参加型のアプローチを多く取り入れ、基本的な生活ニーズに応えられるようなプログラムの策定を行うボトムアップ型のプログラムを多く取り入れ、政府側も体制を強化する等一定の成果をあげてきたと認識されている。農村部では 160 万人が INDH によるプログラムの支援を受けた他、貧困ラインのボーダーに位置する脆弱者層の 560 万人の内、53 万 7,000 人が裨益している<sup>19</sup>。

INDH の 4 大重点プログラムが対象とする地域は、都市部については、人口 10 万人以上の地域の内、同じく、HCP(2004)の調査結果を踏まえ、失業率、衛生状態、インフラの整備状況などを鑑み 264 地区を選定している<sup>20</sup>。INDH の対象地域では、その他の地域に比べて貧困率がより大きく減少している。2004-2007 年の比較では、対象地域では、貧困率が 36%から 21%へ減少したが、その他の地域では 16,9%から 12.2%の減少にとどまっている。

<sup>15</sup> 1 ディラハム(MAD) = 9.240 円(JICA 平成 23 年度精算レートによる)

[http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul\\_g/pdf/rate\\_2011.pdf](http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_g/pdf/rate_2011.pdf)

<sup>16</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, p. 41

<sup>17</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, p. 41

<sup>18</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, p. 40

<sup>19</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, pp. 40-42

<sup>20</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, p. 29

図表 6 INDH の対象地域（都市部）<sup>21</sup>

**RÉSULTAT DU CIBLAGE URBAIN**

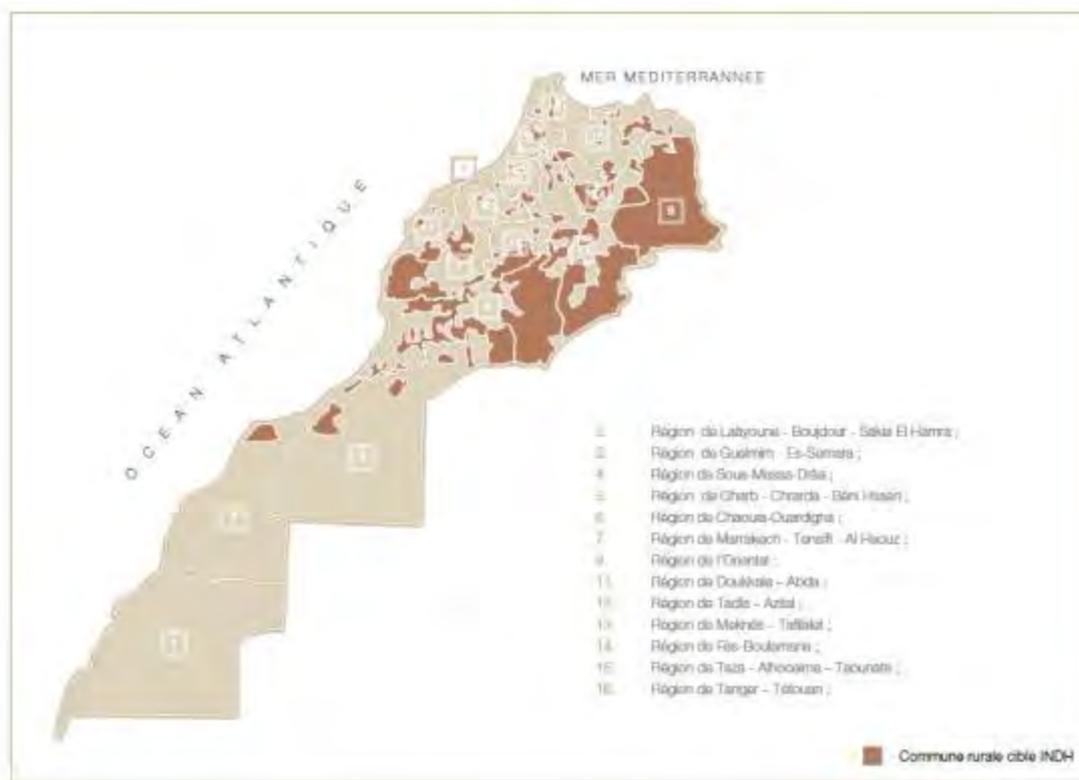
Villes	Nbre de quartiers retenus	Villes	Nbre de quartiers retenus
Grand Casablanca	54	Nador	4
Rabat		Khémisset	4
Salé	30	Lâayoune	4
Témara		Béni-Mellal	4
Fès	20	Seltat	4
Marrakech	20	Gulémim	4
Tanger	20	Oued Eddahab-Dakhla	4
Meknès	10	Al Hoceima	4
Oujda	10	Mdiq-Frïdeq	2
Kénitra	8	Youssoufia	2
Agadir	8	Taza	2
Tétouan	6	Guercif	2
Safi	6	Tan-Tan	2
Inzegane Ait Melloul	6	Es-smara	2
Larache	6	Boujdour	2
Ksar El Kebir	6	Asa-Zag	2
Khourbga	4	Tata	2
El Jadida	4	Aousserd	2

Total villes : 36 | Total quartiers : 264

<sup>21</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, p. 29

一方、農村部では、貧困率が30%以上の403市町村である。市町村の選定はMorroco(2004),Haut Commissariat au Plan の調査結果を踏まえて検討されている<sup>22</sup>。

地図 3 INDHの対象地域（農村部）<sup>23</sup>



2005年以降の5年間で政府予算として、60億MAD、地方政府予算として、20億MAD、ドナー援助として20億MADを投じてきた。上記の4大重点プログラムに、それぞれ25億MADを費やし、合計額は100億MAD（約1,500億円）となっている。ドナー国はアメリカ、サウジアラビア、フランス、日本等である<sup>24</sup>。

<sup>22</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, p. 28

<sup>23</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, p. 28

<sup>24</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, pp. 31-32,45

### III. 所得貧困による分析

#### 1. 貧困線とデータ

WB (2004) によると、モロッコ政府による貧困指標の設定については、政府機関である Haut Commissariat au plan (HCP) が様々な指標を用いて生活水準に関する調査を行っている<sup>25</sup>。

貧困線については、WB (2004) による調査報告書「Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques」において取り上げられている<sup>26</sup>。

同報告書の作成には HCP も協力しており、特に貧困マップ作成に関する調査を担当している。

この調査では、都市部と農村部における絶対的貧困線について二分しており、都市部については、一人当たり年間消費額約 3,922MAD (1998 年通貨基準) を、農村部では、一人当たり年間消費額約 3,037MAD を絶対的貧困線として扱っている。なお、HCP (2005) にモロッコ政府関係文書における都市部・農村部の区分について記載がみられる。同調査報告書によると、都市部とは「地理的条件に恵まれ、人口数が一定以上で、かつ、電気・水道・下水道などのインフラ整備が行われていること。また、非農業従事者が労働人口の 50% 以上を占めること」を満たす地域を示すとされている<sup>27</sup>。

また、モロッコ政府 (2008) による調査報告書「Objectifs du Millénaire pour le Développement」では MDGs 指標について進捗状況等をまとめているが、同報告書においては、相対的貧困線<sup>28</sup>について 2001-2007 年の変化が示されている<sup>29</sup>。2007 年の相対的貧困線は、都市部で 1 人あたり年間 3,834MAD、農村部で 1 人あたり年間 3,569MAD としている。これは平均で 1 日 2.15 米ドル (1 米ドル=4.88MAD) に相当する<sup>30</sup>。

なお、HCP(2007)による調査報告書「ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007」では、貧困に関する分析を多角的に実施している。同調査では、貧困層から富裕層を一人当たり平均消費額によって、5 つの階層に分け、各階層の構成数が 20% ずつになるように、基準となる一人当たり平均消費額を設

<sup>25</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 19 (2011/DEC/09 アクセス)  
[http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/IB/2005/01/12/000112742\\_20050112144949/Rendered/PDF/282230Poverty0Report0french0final.pdf](http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/IB/2005/01/12/000112742_20050112144949/Rendered/PDF/282230Poverty0Report0french0final.pdf)

<sup>26</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 19

<sup>27</sup> HCP(2005), Démographie Marocaine : tendances passées et perspectives d'avenir, p.35  
[http://www.rdh50.ma/fr/pdf/rapport\\_thematique/Demographie/demographieA4corrige.pdf](http://www.rdh50.ma/fr/pdf/rapport_thematique/Demographie/demographieA4corrige.pdf) (2011/DEC/27 アクセス)

<sup>28</sup> 相対的貧困率の定義：モロッコ政府では、世界銀行の定義に基づき、貧困線と食費以外の年間支出に占める額の割合を掛け合わせたものを相対的貧困率として定義している。(参考) HCP ウェブサイト,  
[http://www.hcp.ma/glossary/Pauvrete-vulnerabilite-et-inegalite\\_gi2103.html](http://www.hcp.ma/glossary/Pauvrete-vulnerabilite-et-inegalite_gi2103.html). (2011/DEC/27 アクセス)

<sup>29</sup> Royaume du maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 20.

<sup>30</sup> HCP(2009), Evolution des niveaux de vie, p. 1  
<http://www.hcp.ma/file/111826/>

定している。なお、本調査は、2006年12月1日から2007年11月30日にかけて、全国で7,200世帯を対象に行ったアンケート調査結果に基づくものである<sup>31</sup>。

**【HCP（2007）における一人当たり年間平均消費額による分類】**

- ・ HCP（2007）では、一人当たり年間平均消費額により国民を5つの階層（C1～C5）に分類している。
- ・ この分類では、貧困層から富裕層までを一人当たり年間平均消費額に従い、5つの階層をつくり、それぞれの階層が全体の構成数の20%となるように基準となる消費額を設定している。

階層名	1人あたり年間平均消費額（MAD）
C1（最も貧しい下位20%の貧困層）	4,945MAD 以下
C2（2番目に貧しい20%の貧困層）	4,945MAD-6,873MAD
C3（中位20%の層）	6,873MAD-9,498MAD
C4（2番目に豊かな20%の富裕層）	9,498MAD-14,291MAD
C5（最も豊かな上位20%の富裕層）	14,291MAD 超

**2. 貧困の状況—貧困率の分析**

モロッコの貧困率の状況分析については、各種調査報告書に記述がみられる。

まず、絶対的貧困線については、WB（2004）が使用している都市部・農村部とで2種類の基準がある。都市部については、一人当たり年間消費額約3,922MAD（1998年通貨基準）を、農村部では、一人当たり年間消費額約3,037MADを絶対的貧困線として扱っている。この調査結果に従うと、レポート作成時点において、貧困率は17%とされている<sup>32</sup>。なお、同調査では、電気、飲料水、道路等の整備について、恵まれない地域（BAJ1 : Barnamaj Aoulaouiyat Jtimaiya I - premier programme de priorités sociales）として、14地域を選定している<sup>33</sup>。

<sup>31</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 26, 225

<http://www.undg.org/docs/9793/Rapport-OMD-Maroc-2007.pdf> (2011/DEC/27 アクセス)

<sup>32</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 19

<sup>33</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 31

図表 7 BAJ1 実施地域及びその特徴 (1994 年)<sup>34</sup>

Tableau 4.1: Classement BAJ par Province en termes des différents indicateurs sociaux et de pauvreté en 1994

Provinces BAJ	Classement de pauvreté (1= maximal)		Classement de santé		Classement d'éducation (1= minimal)			Classement d'Infrastructure 1994 (1= minimal)	
	Total	Rural	TMI (1997) (1= maximal)	Médecins par habitant (1= minimal)	Taux d'alphabétisme	Inscriptions école primaire	Part des filles dans les inscriptions	% ayant l'électricité	% accès rural à l'eau
Al Haouz	16	27	21	--	2	5	4	5	--
Al Hoceima	28	30	9	20	15	21	19	21	15
Azilal	14	23	3	2	4	6	6	10	10
Chefchaouen	2	6	7	10	8	3	11	6	2
Chichaoua	5	10	5	--	1	1	3	3	--
Essaouira	8	14	13	12	3	4	5	8	6
El Kelaa	23	34	43	8	5	7	12	9	42
Sraghna									
Ouarzazate	22	28	16	16	13	63	10	26	31
Safi	29	26	33	22	21	12	21	54	3
Sidi Kacem	19	33	39	17	19	25	17	13	13
Taroudant	41	51	10	7	6	13	8	11	14
Taza	21	29	15	21	16	29	14	19	22
Tiznit	24	32	4	14	11	26	9	15	7
Zagora	13	21	--	--	69	--	--	12	33

Note: -- indique des données manquantes

また、絶対的貧困線に基づく貧困率については、モロッコ政府 (2008) にも分析がみられ、1日1米ドル以下で生活する貧困層は、1990年の3.5%から2007年には0.6%へ減少している。しかし、1日2米ドル以下で生活する貧困層については、2007年においても、約8%に達しているとされている。具体的な貧困層の人口数についても言及されており、2001-2007年の間に、170万人が貧困状態から脱することができたという報告がみられる。しかし、同報告書において、依然として280万人が貧困ライン以下での生活を余儀なくされていることも指摘されている<sup>35</sup>。2007年の地域別にみた貧困率では、ザゴラ(Zagora)が32.4%と最も高く、次いでジェラダ(Jerada)が22.8%、シサウア(Chichaoua)が18.8%となっている。ラバト(Rabat)、ラユヌ(Laâyoune)などは貧困率が5%を下回っており最も低い地域となっている<sup>36</sup>。

一方、相対的貧困率については、モロッコ政府 (2008) において、2001-2007年の変化が記載されている。国全体については、2001年に15.3%であった貧困率が2007年には9.0%まで減少したことが示されている。このデータを都市部・農村部別にみると、都市部では、2001年時点で7.6%であった貧困率が、2007年には4.8%に減少している。また、農村部においても2001年時点で25.1%であった貧困率が2007年時点では、14.5%に大幅に減少していると報告されている。ただし、都市部と農村部を比較すると、以前として、農村部の相対的貧困率は高く、地域間格差が大きな問題であることが読み取れる<sup>37</sup>。

なお、HCP (2008) では、都市部・農村部別にみた男女間の格差についてデータを紹介

<sup>34</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 43

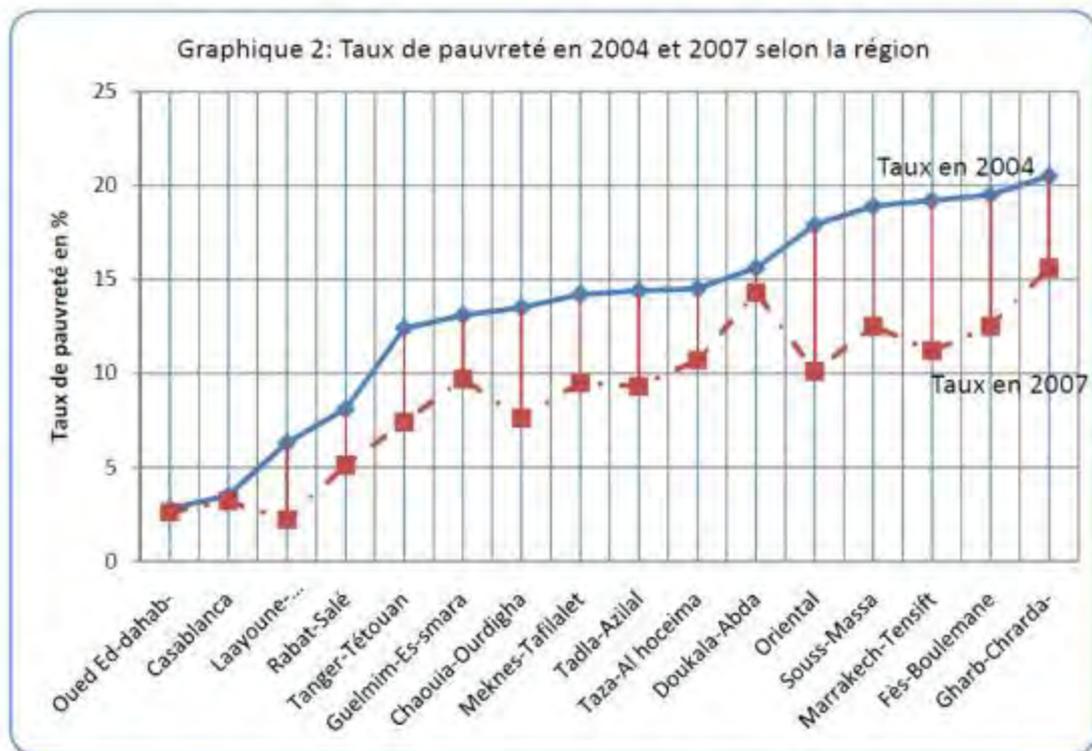
<sup>35</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 20

<sup>36</sup> HCP(2010), Carte de la pauvreté 2007, p.8

<sup>37</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 20

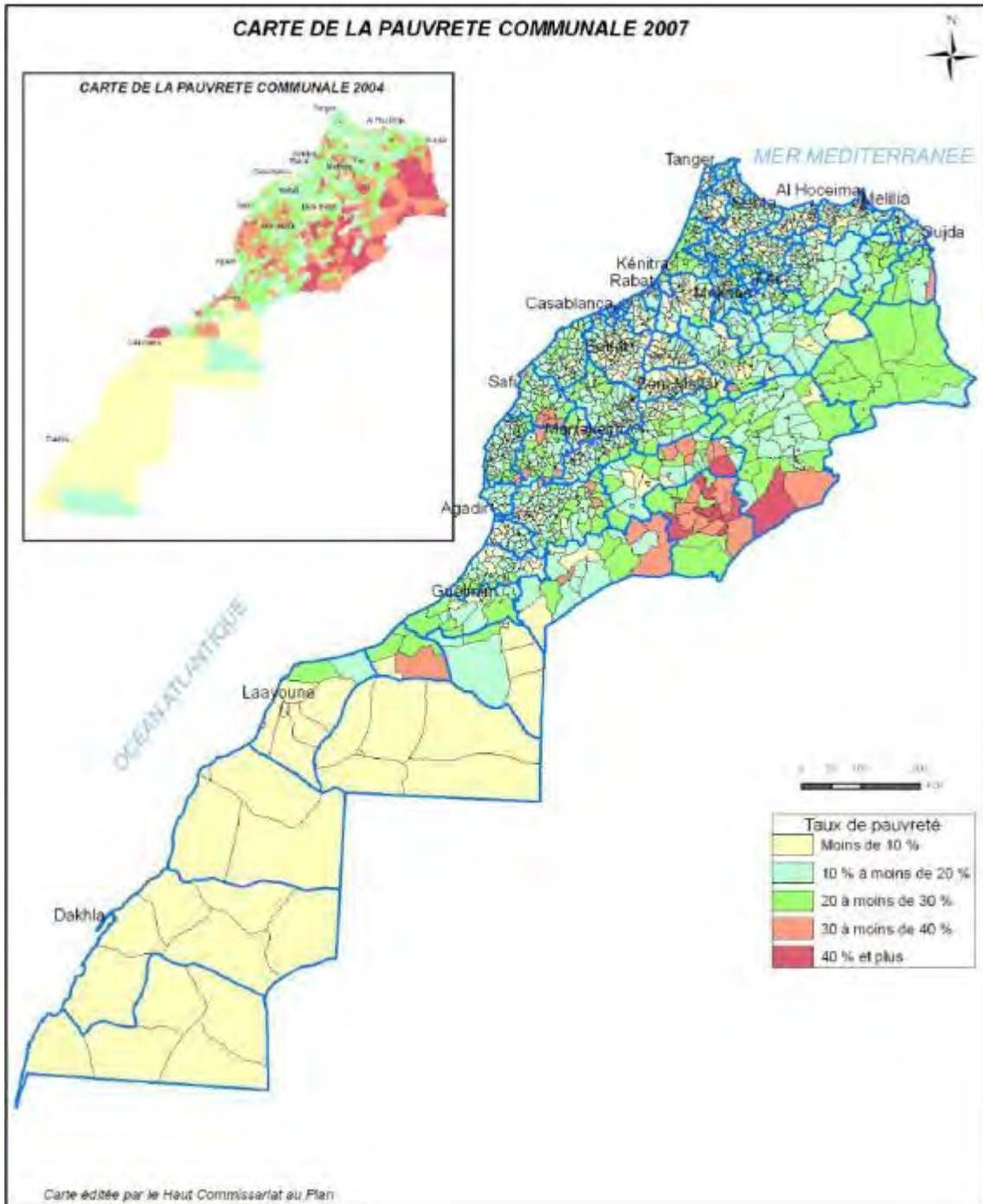
している。

図表 8 地域別にみた貧困率の変化（2004-2007 年比較）<sup>38</sup>



<sup>38</sup> HCP(2010), Carte de la pauvreté 2007, p.10

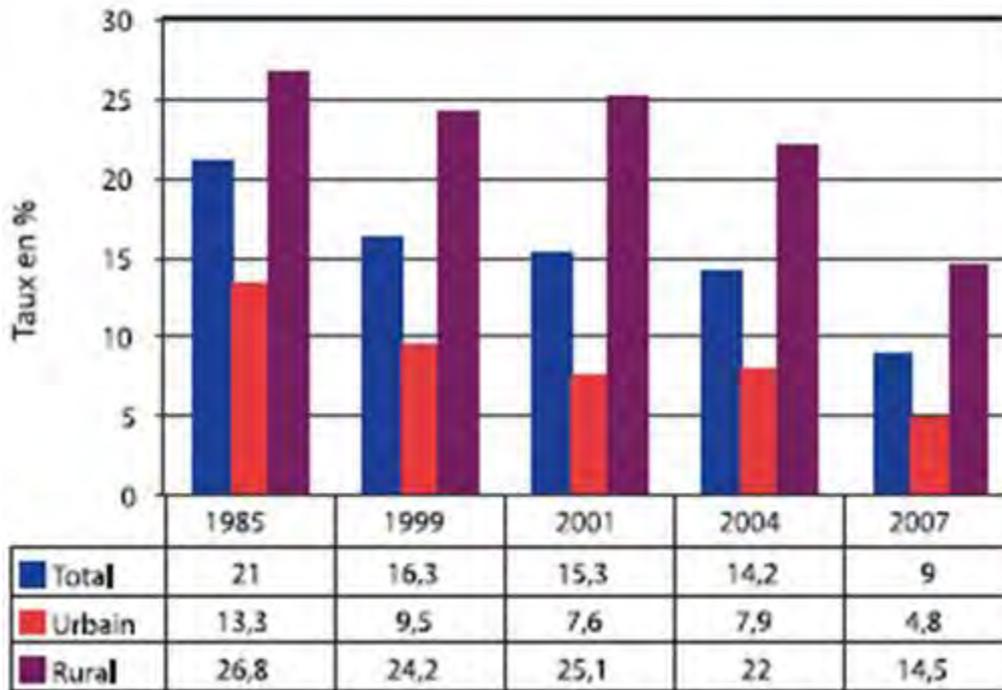
地図 4 貧困率（県別）（再掲）<sup>39</sup>



<sup>39</sup> HCP(2010), Carte de la pauvreté 2007, p.82

図表 9 相対的貧困率の推移（1985-2007 年）<sup>40</sup>

### Evolution du taux de pauvreté relative



図表 10 都市部・農村部における男女別にみた相対的貧困率（2001 年、2007 年）<sup>41</sup>

### Taux de pauvreté relative (%) selon et le milieu de résidence et le sexe

Milieu de résidence	2001			2007		
	Masculin	Féminin	Total	Masculin	Féminin	Total
Ensemble	15,4	15,2	15,3	8,8	9,1	8,9
Urbain	7,7	7,5	7,6	4,7	4,8	4,8
Rural	25,0	25,3	25,1	14,2	14,5	14,4

<sup>40</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 20

<sup>41</sup> HCP(2008), LA FEMME MAROCAINE EN CHIFRES, p. 107 <http://www.hcp.ma/downloads/> (2011/DEC/27 アクセス)

### 3. 所得貧困等による格差の状況

また、所得貧困等による格差の状況については、WB(2004)において、地理的な格差が大きいことが指摘されている。また、同じ地域の中でも都市部と農村部等における市町村間格差が生じていることが指摘されている<sup>42</sup>。

図表 11 都市部・農村部での格差の度合いの違い<sup>43</sup>

Tableau 3.2: Décomposition de l'inégalité par Groupe géographique  
(Mesure entropique de classement général avec un paramètre de valeur 0,5)

	Parts entre-groupes d'inégalité globale			No. d'unités géographiques (rurales et urbaines réunies)
	Rural	Urbain	Rural + Urbain	
National	0%	0%	0%	1
Région	21%	3%	18%	14
Province	29%	10%	18%	67
Commune	55%	17%	40%	1517
Ménage	100%	100%	100%	4 291,792
Total Inégalités (EG 0,5)	0,287	0,257	0,298	

### 4. 格差の分析—ジニ係数、貧困ギャップ率、二乗貧困率の分析

WB(2004)によると、社会資源の再配分に関する政策の結果、ジニ係数が減少し、貧困率も 2003 年までに 15%水準まで低下したという報告がみられる。さらに、HCP(2008)では、8.9%まで減少したことが示されている<sup>44</sup>。

また、HCP(2007)では、最も豊かな上位 20%の富裕層と最も貧しい下位 20%の貧困層を比較すると、特に農村部での一人当たり年間平均消費額の差が顕著であることが指摘されている。ジニ係数では 2001 年の 40.8%から 2007 年は 40.7%とごくわずかであるが、減少している。これを都市部・農村部別にみると、都市部では同年比較で 41.1%から 39.3%へ、農村部では 33.1%から 32.0%へと、それぞれ減少した<sup>45</sup>。

また、HCP(2008)によると、貧困ギャップ率は、2001 年には、13.5%であったが、2007 年時点では、1.9%まで低下している。また、都市部・農村部別にみると、都市部の方が農村部に比べ貧困ギャップ率は低く、1%水準となっている。一方で、農村部では、2001 年と比較すると 2007 年時点では減少しているものの、3.3%となっている。二乗貧困率についても同様の傾向がみられる。

<sup>42</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 21, 27

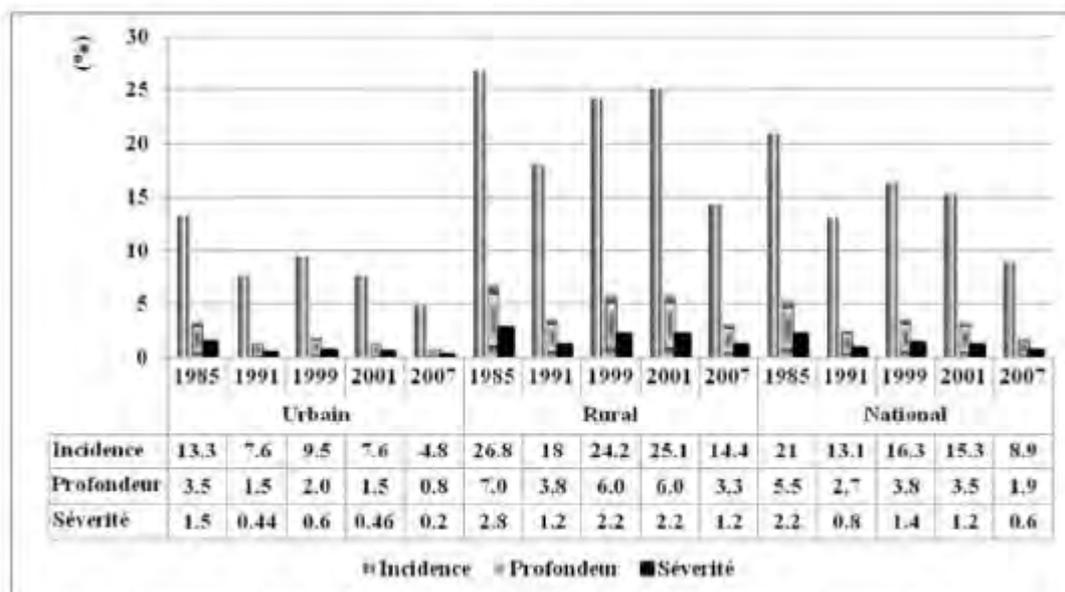
<sup>43</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 26

<sup>44</sup> HCP(n.d.), Dynamique de la pauvreté 1985-2007, p.17

<sup>45</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 49

図表 12 貧困ギャップ率、二乗貧困率 (1985-2007 年) (再掲)<sup>46</sup>

Graphique 3 : Evolution des indices de pauvreté monétaire par milieu de résidence Maroc 1985-2007



Source : HCP, données de base des ENCDM 1984/85 et 2000/01 et des ENNVN 1990/91, 1998/99 et 2006/07.

<sup>46</sup> HCP(n.d.), Dynamique de la pauvreté 1985-2007, p.17

## IV. 所得貧困以外による分析

### 1. HDI による経年変化の分析と地域国際比較

モロッコの HDI は 2011 年時点で、173 か国中 130 位とランキングされており、1980 年時点：0.364、2000 年時点：0.507、2011 年時点：0.582 と順調に改善されてきている。

モロッコ政府（2008）の報告によると、HDI は 1995-2000 年の間に 1% 上昇、2000-2006 年の間に 1.6% 上昇しており、堅調な改善がみられる<sup>47</sup>。しかし、中東地域の他国と比較すると、イラク共和国と同水準であり、下位に位置している。（ただし、アフリカ諸国との比較においては、南アフリカ共和国に次ぎ、上位に位置している。）

教育関連指標、保健・医療関連指標についても改善の傾向にあることが示されており、2011 年時点で、教育関連指標が 0.447、保健・医療関連指標が 0.82 となっている。

また、関連する報告として、保健・医療については、衛生的な水へのアクセスは 1994-2006 年の間に 44.1% から 72% に改善されている<sup>48</sup>。

一方、教育についても、モロッコ政府年間予算の 25% 程度を費やし、就学率は 79.1% から 93.5% へ改善している（1999-2007 年）。ただし、都市部では男女平等に教育を受けることができるようになってきているものの、農村部では依然としてやや遅れているという報告もみられる。小学校の就学率をみると、女子の方が男子よりも上がっている。農村部における女子学生の中学校への就学率が 15% 程、上昇している（2000-2007 年）<sup>49</sup>。

図表 13 モロッコ人間開発指標の推移（1980-2010 年）（再掲）<sup>50</sup>

HDI Rank(2011) :130	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
HDI Index	0.364	0.406	0.435	0.466	0.507	0.552	0.559	0.565	0.57	0.575	0.579	0.582
Education Index	0.181	0.23	0.254	0.299	0.354	0.418	0.422	0.433	0.437	0.442	0.447	0.447
Health Index	0.6	0.65	0.7	0.74	0.77	0.8	0.8	0.81	0.81	0.81	0.82	0.82
Income Index	0.448	0.447	0.466	0.46	0.479	0.507	0.516	0.518	0.524	0.528	0.531	0.535

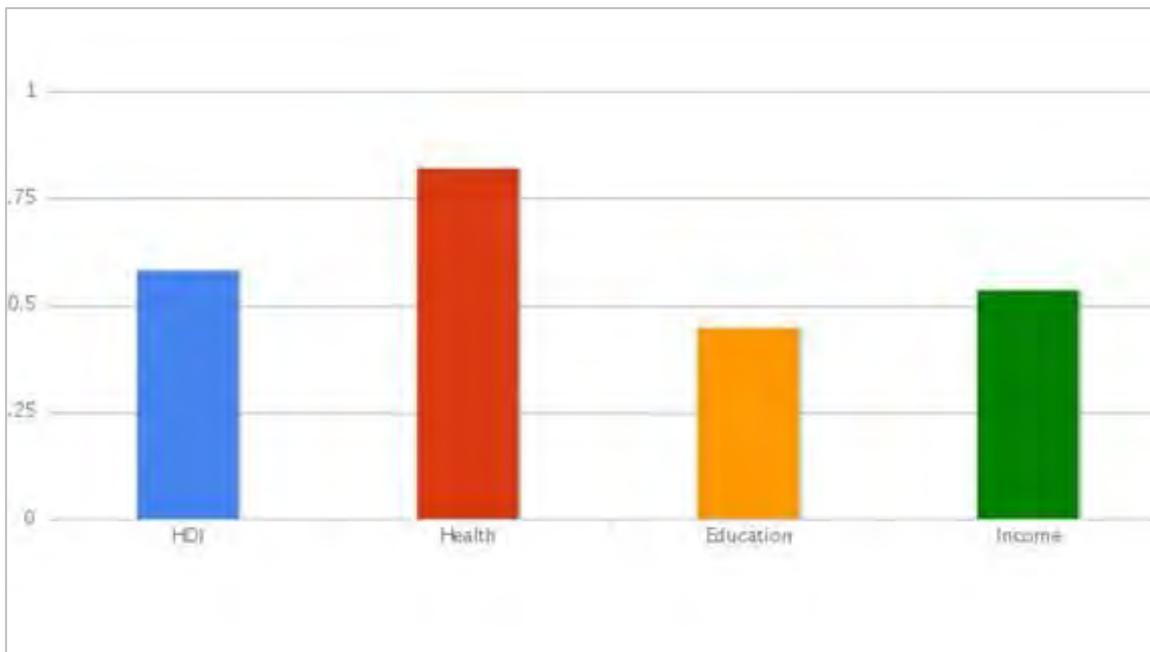
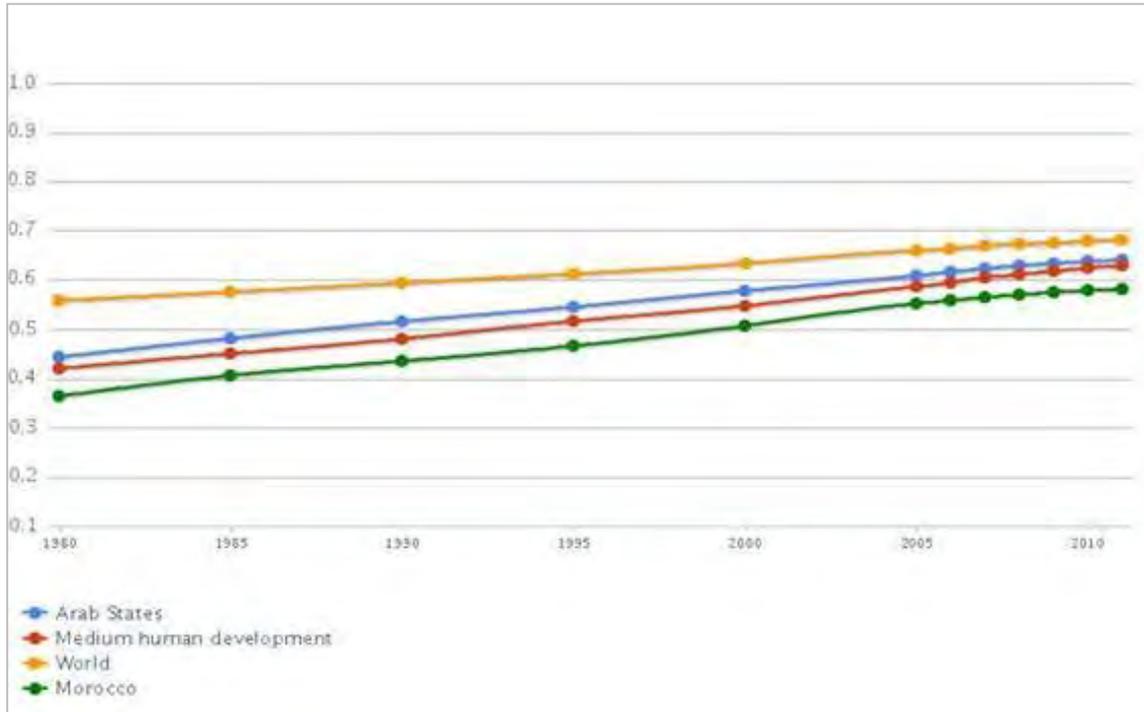
<sup>47</sup> Royaume du Maroc(2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 12  
<http://www.undg.org/docs/9793/Rapport-OMD-Maroc-2007.pdf>

<sup>48</sup> Royaume du Maroc(2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 13  
<http://www.undg.org/docs/9793/Rapport-OMD-Maroc-2007.pdf>

<sup>49</sup> Royaume du Maroc(2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 14  
<http://www.undg.org/docs/9793/Rapport-OMD-Maroc-2007.pdf>

<sup>50</sup> UNDP ウェブサイト, <http://hdrstats.undp.org/en/indicators/103106.html>, 2011/DEC/09 アクセス

図表 14 モロッコ、中東地域、世界の人間開発指標の推移等（再掲）<sup>51</sup>



<sup>51</sup> UNDP ウェブサイト, <http://hdrstats.undp.org/en/indicators/103106.html>, 2011/DEC/09 アクセス

## 2. MDG 指標の分析

モロッコ政府（2008）の MDGs 指標に関するレポートでは、都市部・農村部ともに関連指標は改善の傾向を示している。

食料へのアクセスに関する目標値は 2000 年に達成している。国全体でみると、2007 年時点で、飢餓状態にある人は 1% である。農村部における改善の傾向もみられており、2015 年の目標値 2.3% に対し、2007 年時点で、2.0% となっている<sup>52</sup>。

初等教育については、国全体での就学児童数は年率 1.02% で増加し、2006-2007 年では 390 万人となっている。国全体の就学率は 1990-2000 年の間に、79.1% から 93.5% に改善されている。都市部・農村部共に、就学率の男女格差が縮まっている。また、中等教育については、特に農村部での改善が著しく、就学人数は 30 万 8,737 人に達している<sup>53</sup>。

図表 15 教育関連指標（1990-2015 年）（再掲）<sup>54</sup>

Evolution des indicateurs						
Cibles	Indicateurs	1990	1994	2004	2007	2015
Cible 7 : D'ici à 2015, généraliser la scolarisation des filles et des garçons dans le préscolaire	- Taux nets de scolarisation au préscolaire 4-5 ans (1991)					
	Ensemble	40,5	39,4	50,1	58,7	100
	Masculin	55,2	54,5	60,2	68,2	100
	Féminin	25,1	23,6	39,6	51,0	100
Cible 8 : D'ici à 2015, donner à tous les enfants, garçons et filles les moyens d'achever un cycle complet d'études primaires	- Taux nets de scolarisation dans le primaire (6-11 ans) (1991)					
	Ensemble	52,4	60,2	87,0	93,5	100
	Masculin-urbain	77,5	84,2	91,2	95,0	100
	Féminin-urbain	71,7	79,8	89,8	92,1	100
	Masculin-rural	48,8	55,7	88,5	94,6	100
	Féminin-rural	22,5	30,1	78,5	87,7	100
	- Proportion d'écoliers commençant la 1ère année d'étude dans l'enseignement primaire et achevant la 5ème année			(2005)	(2006)	
	Ensemble			68,6	70,8	100
Masculin			68,8	70,4	100	
Féminin			68,1	70,9	100	
Cible 9 : D'ici à 2015, donner à tous les enfants, garçons et filles les moyens d'achever un cycle complet d'études collégiales	- Taux nets de scolarisation dans l'enseignement secondaire collégial (12-14 ans) (1991)					
	Ensemble	17,5	20,2	31,9	43,4	100
	Masculin-urbain	39,5	43,1	51,4	65,4	100
	Féminin-urbain	31,9	37,5	52,3	65,6	100
	Masculin-rural	3,4	4,6	14,3	21,2	100
	Féminin-rural	1,1	1,6	8,9	15,6	100
	- Proportion d'écoliers commençant la 1ère année d'étude dans l'enseignement collégial et achevant la 3ème année			(2005)	(2006)	
	Ensemble			79,7	78,6	100
	Masculin			75,8	74,9	100
	Féminin			84,2	82,9	100
Cible 10 : D'ici à 2015, éradiquer l'analphabétisme des hommes et des femmes âgés de 10 à 25 ans et réduire de moitié, par rapport à 1990, le taux global d'analphabétisme (10 ans et plus)	- Taux d'alphabétisation de la population âgée de 10 ans et plus (1982)					
	Ensemble	45,3	45	57	58,8	80,2
	Masculin	60,5	59	69,2	70,6	-
	Féminin	31,7	33	45,3	47,4	-
	Urbain	63,3	63	70,6	71,0	-
	Rural	28,2	25	39,5	41,9	-
	- Taux d'alphabétisation de la population âgée de 15-24 ans (1982)					
	Ensemble	62,4	58	70,5	76,0	100
Masculin	78,0	71	80,8	84,4	100	
Féminin	48,5	46	60,5	67,5	100	

<sup>52</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 20

<sup>53</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, pp. 25-26

<sup>54</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 28

女性の地位についても向上しており、非識字率の低下も確認されている<sup>55</sup>。

ただし、識字能力の低い層では、乳幼児死亡率の水準も高いことが指摘されている。<sup>56</sup> 特に、貧困、識字能力の不足が影響して、5歳以下の子どもの死亡率は依然として高い。1992年の76%から2004年には47%まで改善しているが、MDGsの28%という目標値までは更なる取組みが必要とされている。

モロッコでは、HIV感染者は非常に少なく、2000年からほぼ変化なしの0.08%であるが、結核については、人口の密集する都市部で特に大きな問題となっている。罹患者の70%が15 - 45歳で、貧困、非識字であることが結核を拡散させていると報告されている。

---

<sup>55</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 30

<sup>56</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 35

図表 16 乳幼児死亡率関連指標（1982-2015 年）（再掲）<sup>57</sup>

Cibles	Indicateurs		1982 1991	1994 2003	2015
Cible 15. Réduire de deux tiers, entre 1990 et 2015, le taux de mortalité des enfants de moins de 5 ans	Taux de mortalité des enfants de moins de 5 ans (‰)	Ensemble Garçons Filles Urbain Rural	76 (*) 88 80 59 98	47(**) 59 48 38 69	19 22 20 15 25
	Taux de mortalité infantile (‰)	Ensemble Garçons Filles Urbain Rural	57(*) 69 57 52 69	40(**) 51 37 33 55	14 17 14 13 17
	Taux de mortalité néonatale (‰)	Ensemble Garçons Filles Urbain Rural	31(*) 39 29 30 36	27(**) 33 23 24 33	7 10 7 7 9
	Taux de mortalité juvénile (‰)	Ensemble Garçons Filles Urbain Rural	20(*) 20 24 7 31	7(**) 8 11 5 15	4 4 6 2 7
	Proportion des enfants ayant fait toutes les vaccinations (%)	Ensemble Garçons Filles	(1992) 75,7 75,5 76,0	(2003- 2004) 89,1 86,8 91,2	95,0 95,0 95,0
	Taux de glissement entre la 1ère et la 3ème prise (DTCoq et Polio) (%)	Ensemble Garçons Filles	(1992) 12,4 12,9 11,9	(2003- 2004) 2,7 2,5 2,8	< 4
	Proportion d'enfants vaccinés contre la rougeole (%)	Ensemble Garçons Filles	(1992) 79,8 79,7 79,9	(2003- 2004) 90,4 88,2 91,2	95,0 95,0 95,0
	Taux d'allaitement maternel exclusif à 6 mois (%)	Ensemble	(1992) 51	(2003- 2004) 32	

(\*) 1987 - 1991

(\*\*) 1999 - 2003

<sup>57</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 37

図表 17 結核等の罹患率の変化（1990-2015年）（再掲）<sup>58</sup>

Cibles	Indicateurs	1990	1995	2000	2005	2010	2015
<b>Cible 18.</b> D'ici 2015, avoir stoppé la propagation du VIH/SIDA et commencer à inverser la tendance	1. Séroprévalence au VIH pour les femmes enceintes (%)	-	(1994) 0,03	(1999) 0,07	0,06		
	2. Taux d'utilisation de la contraception chez les femmes mariées âgées de 15-49 ans (%)	(1992) 42	(1997) 58	-	(2003-04) 63		65
	3. Part de l'utilisation du préservatif dans la contraception (%)	(1992) 2	(1997) 3	-	(2003-04) 3		
<b>Cible 19.</b> D'ici 2015, avoir éliminé le paludisme en 2006	Taux d'incidence du paludisme autochtone (pour 100 000 habitants)	Homme	7,0	1,2	0,02	(2006) 0	0
		Femme	5,0	1,4	0,02	0	0
Ensemble		6,2	1,3	0,02	0	0	
	Incidence du paludisme importé de l'étranger (nombre de nouveaux cas)	(1992) 54	33	56	(2006) 83	-	-
<b>Cible 20.</b> Avoir maîtrisé la tuberculose et commencer à inverser la tendance actuelle	Taux d'incidence de la tuberculose (pour 100 000 habitants)	113	(1996) 118	106	(2006) 85	72	50

2001年から6年間で一人当たり年間平均消費額は2.3%増加し、特に貧困・脆弱層世帯の生活水準でも向上していることが確認されている。消費額の内訳をみると、食料品が最も多いが、割合はやや減少している。一方、交通・通信費が上昇している。

また、国全体としては、食費に占める肉・乳製品の割合が増加しているが、貧困層とその他の層における食生活の格差は依然としてみられる<sup>59</sup>。

<sup>58</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 45

<sup>59</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, pp. 25-26

## V. 社会的属性・特性と貧困との関連の分析

WB (2004) 等の分析に基づき、モロッコにおける社会的属性・特性と貧困との関連について、貧困者層の特徴を整理する。

### 1. 社会的属性・特性による特徴（概要）

モロッコ政府は2004年にINDHによって貧困削減イニシアティブを策定した際に、貧困問題が深刻なために対策が必要な特定の地域を選定している。都市部では失業率、衛生状態、インフラの状況などを鑑み264地区が選定されている<sup>60</sup>。また、農村部においても、貧困率が30%以上の403市町村が指定されている。

モロッコ政府は貧困削減・社会的排除への対策の一環として、「スラム街のない町」(Villes sans bidonvilles) キャンペーンを2004年7月から展開している。スラム街は、貧困問題を象徴する地域の一つとして捉えられている。具体的な対策として、2004-2012年にかけて、83の市町村、約1,000のスラム街で暮らす29万3,000世帯を対象に、衛生環境の改善のためのプログラム等が実施されてきた。ただし、2008年までに約8万世帯しかプログラムが実施されていない<sup>61</sup>。

図表 18 INDHの対象地域（都市部）（再掲）<sup>62</sup>

RÉSULTAT DU CIBLAGE URBAIN			
Villes	Nbre de quartiers retenus	Villes	Nbre de quartiers retenus
Grand Casablanca	54	Nador	4
Rabat	1	Khémisset	4
Salé	30	Lâayoune	4
Témara	1	Béni-Méllal	4
Fès	20	Seltat	4
Marrakech	20	Gulemim	4
Tanger	20	Oued Eddahab-Dakhla	4
Meknès	10	Al Hoceima	4
Oujda	10	Mdiq-Frïdeq	2
Kénitra	8	Youssoufia	2
Agadir	8	Taza	2
Tétouan	6	Guercif	2
Safi	6	Tan-Tan	2
Inzegane Ait Melloul	6	Es-smara	2
Larache	1	Boujdour	2
Ksar El Kebir	6	Assa-Zag	2
Khourbga	4	Tata	2
El Jadida	4	Aousserd	2

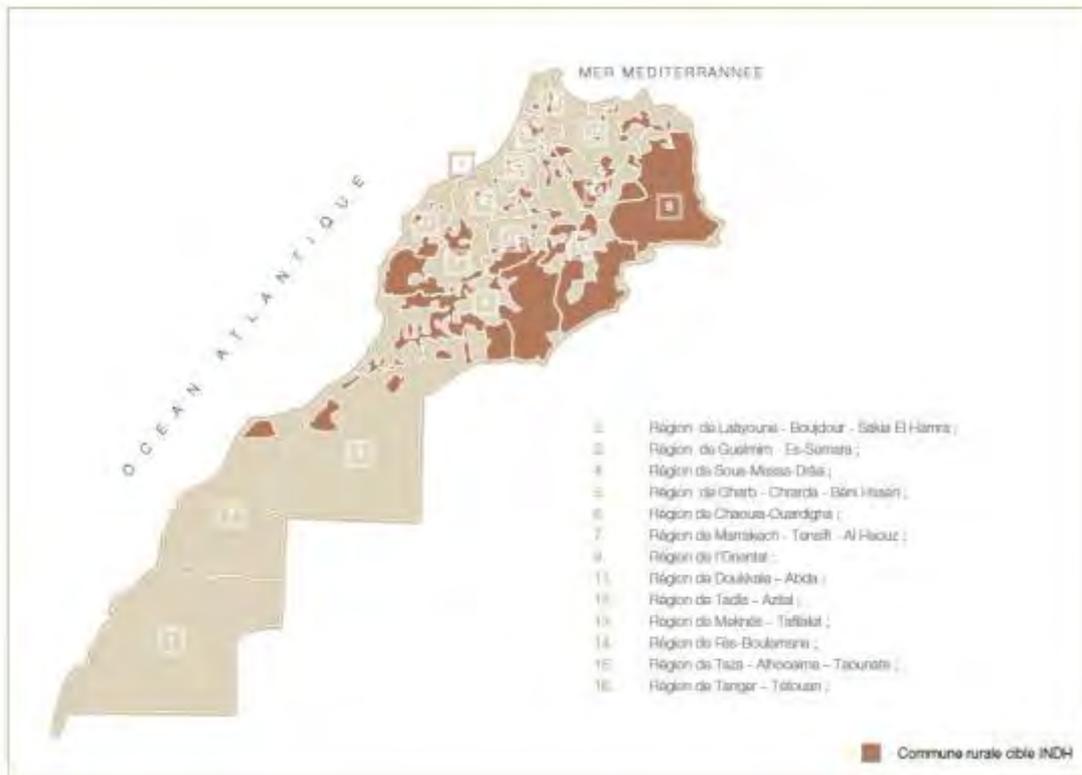
Total villes : 36 | Total quartiers : 264

<sup>60</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, p. 29

<sup>61</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 49

<sup>62</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, p. 29

地図 5 INDH の対象地域（農村部）（再掲）<sup>63</sup>



<sup>63</sup> Royaume du Maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, p. 28

図表 19 スラム街に関する状況の変化 (1995-2015 年) (再掲) <sup>64</sup>

Evolution des indicateurs

<i>Cibles</i>	<i>Indicateurs</i>	1995	2000	2006	2015
<b>Cible 21.</b> Intégrer les principes du développement durable dans les politiques nationales et veiller à la préservation de la biodiversité en inversant la tendance à la déperdition des ressources environnementales	Proportion des zones forestières	12,7	12,7		
	Superficies annuelles moyennes reboisées (ha)	20 000	20 000	33 000	
	Superficie des aires protégées pour préserver la biodiversité (ha)	(1991) 49 000	(2001) 545 000	(2005) parcs nationaux 606 000	
<b>Cible 22.</b> Limiter les émissions des gaz nocifs à la santé et à l'environnement	Émissions de dioxyde de carbone en tonnes E-CO <sub>2</sub> par habitant	(1994) 1,84	(1999) 1,93		
	Émissions des substances appauvrissant la couche d'ozone (tonnes)	(1996) 814	564	(2001) 435	
	PIB par unité d'énergie consommée (\$US PPA par kg équivalent pétrole)	(1990) 10,2	(2001) 9,9	5,1*	
<b>Cible 23.</b> Réduire de moitié, entre 1990 et 2015, les pourcentages de la population qui n'a pas accès de façon durable à un approvisionnement en eau de boisson salubre et à un meilleur système d'assainissement	Proportion de la population branchée au réseau ou ayant accès à une source d'eau salubre	(1994)		(2007)	
	Urbain	74	88	100	100
	Rural	14	43	85	100
	Proportion des ménages urbains ayant accès à un réseau d'évacuation des eaux usées	(1994) 74,2		85,6	100
<b>Cible 24.</b> Éliminer, d'ici 2020, en milieu urbain toutes les formes d'habitats qui ne répondent pas aux critères de sécurité	Proportion de la population urbaine habitant les bidonvilles et l'habitat sommaire	(1994) 9,2		(2007) 6,5	
	Ménages urbains propriétaires de leur logement (en %)	(1994) 48,5		64,5	

\* en \$ US

<sup>64</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 50

## 2. 地域の特性

WB (2004) では、貧困層の 60%が農村部において生活していることを報告している<sup>65</sup>。また、WB が 2007 年に行った報告では、全人口の約 60%は農村部で暮らしているが、特に農村部では、女性の 83%が非識字とされており、貧困との関係性が指摘されている<sup>66</sup>。

一方、都市部においても、貧困は社会問題となっている。都市部には、年率 4%程度で農村部からの人口流入が続いている。しかし、就職が不安定なケースもあり、都市部での失業率は上昇している。<sup>67</sup>これらの層は貧困層となる高いリスクを備えていると言える。

ビルアンザラネ (Bir Qnzarane) やカルタ (Khalouta) のように大規模で都市化した自治体では、人口増加率が高く、歳入源が多様化されているため、インフラ整備を効率的に行うことができている。このような地域では、人口に占める貧困世帯の割合が低く、新たに脱貧困を達成することが比較的容易であると言える。しかし、タメッサ-ティシアン-アゼンド (Tamessa-Tissyran-Azendo) やイグラメヌ-ティジ (Igourramene-Tizi) のように小規模で農村部にある自治体では、全体に占める貧困世帯の割合が高く、脱貧困を促すことが難しい状態が続いている<sup>68</sup>。

また、都市部・農村部の所有する資産について、冷蔵庫所有率は 82.6%に達する一方で、農村部では 34.5%にすぎない。なお、消費階層別にみると、最も豊かな上位 20%の富裕層が冷蔵庫を所有する割合が 86.8%であるのに対し、最も貧しい下位 20%の貧困層は 27.7%となっている<sup>69</sup>。

---

<sup>65</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 1

<sup>66</sup> WB(2007), SE SOUSTRAIRE A LA PAUVRETE AU MAROC, p.i. , <http://siteresources.worldbank.org/INTMOROCCOINFRENCH/Resources/Moving.out.of.poverty.French.DEF.pdf> (2011/DEC/27 アクセス)

<sup>67</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 1, 10

<sup>68</sup> WB(2007), SE SOUSTRAIRE A LA PAUVRETE AU MAROC, p. v

<sup>69</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 31

図表 20 一世帯当たりの年間消費額の比較（地域別）（1991-2007年）<sup>70</sup>

Tableau 2 : Evolution de la structure des dépenses des ménages entre 1991 et 2007 selon le milieu de résidence (en%)

Grands groupes de biens et services	1991			1998			2001			2007		
	urbain	rural	total									
Alimentation	40,3	34,7	45,5	38,4	34,2	43,1	37,9	49,9	41,3	36,8	49,3	40,6
Habillement	6,3	5,9	6,1	5,7	5,1	5,5	5	4,3	4,8	3,5	3,1	3,4
Habitation et énergie	18,5	15,4	17,4	23,4	16,7	21,4	22,6	21	22,1	21,1	18,3	20,3
Equipements ménagers	4,6	3,9	4,3	3,9	3,9	3,9	3,8	4	3,8	3,7	3,6	3,6
Hygiène et soins médicaux	7,8	4,6	6,7	7,6	5	6,9	8,3	5,6	7,6	7,6	6,3	7,2
Transport et communications	6,6	4,7	5,9	7	5,2	6,5	8,2	5,6	7,5	12,8	9	11,6
Enseignement, culture et loisirs	7,4	3	5,8	5,6	2,1	4,5	4,3	1,8	3,6	5,2	2,5	4,4
Autres dépenses de biens et services	5,2	5,6	5,5	6,3	6	6,2	5,9	5,1	5,7	6	5,7	5,9
Dépenses non destinées à la consommation	3,3	2,2	2,8	2,1	1,8	2	4	2,7	3,6	3,3	2,3	3
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0

図表 21 一世帯当たりの所有資産の比較（地域別）<sup>71</sup>

Tableau EQ 01 : Taux d'équipement des ménages en biens durables selon le milieu de résidence (en %) (suite)

Biens durables	Milieu de résidence		
	Urbain	Rural	Ensemble
<b>Matériels de transports</b>			
Voiture	13,0	4,7	9,9
Vélocoteur	8,8	10,9	9,6
Bicyclette	17,3	22,5	19,3
<b>Appareils de communication</b>			
Téléphone fixe	19,9	1,2	12,9
Téléphone mobile	84,4	64,5	76,9
Répondeur	2,3	0,2	1,5
Fax	0,5	0,3	0,4

### 3. ジェンダー

貧困問題や社会的排除に関する開発課題を捉える際にジェンダーの視点が重要視されるが、モロッコにおいても、過去 10 年間に渡り、女性の識字率の向上や社会参加促進のためのプログラムを展開してきた<sup>72</sup>。

<sup>70</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 54

<sup>71</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 105

<sup>72</sup> Royaume du Maroc- UN(2006), PLAN-CADRE DES NATIONS UNIES AU MAROC 2007-2011 BILAN COMMUN DE PAYS, p. 16, 28

前述の通り、モロッコにおける失業者の絶対数は近年減少している<sup>73</sup>。しかし、特定の層については、失業問題が継続的に発生している可能性がある。HCP(2008)は、男女別の失業率をさらに年齢階層別に整理している。同報告書によると、女性失業者に占める 15-24 歳の女性失業者の割合は 1999-2007 年の間に 10%程度改善されている。一方、45 歳以上の女性失業者の割合が増加している<sup>74</sup>。

男性については 1999-2007 年の間で失業率に大きな違いはみられないものの、15-24 歳の層が男性失業者の約 50%を占めている。

図表 22 男女別・年齢階層別の失業率の変化（1999-2007 年）<sup>75</sup>

**Structure des chômeurs selon l'âge et par sexe**

Rural

Age	Femmes		Hommes	
	1999	2007	1999	2007
. 15-24 ans	33,3	24,5	53,7	50,9
. 25-34 ans	22,6	23,6	30,9	30,9
. 35-44 ans	18,2	19,9	10,2	10,6
. 45 ans et plus	25,9	32,0	5,2	7,6
. Total	100,0	100,0	100,0	100,0

Source: Enquête Nationale sur l'Emploi HCP

#### 4. 学歴

HCP (2007) では、世帯主の学歴が高い程、一人当たりの年間消費額も高くなっていると示されている。また、世帯主の学歴の違いによりその子どもの就学率に差があることが示されている。世帯主が高等教育修了者の場合、その子どもの就学率は 100%であるが、まったく教育を受けなかった世帯主の子どもの就学率は 86.4%となっている。また、家庭の生活水準も就学率により左右されることが指摘されている<sup>76</sup>。

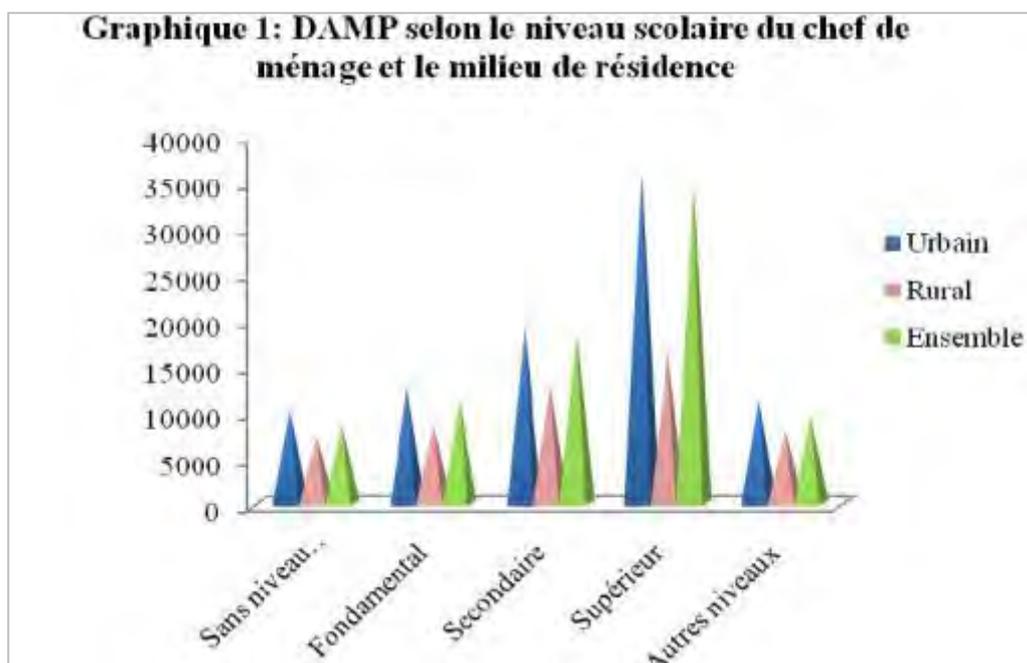
<sup>73</sup> INAC-HCP(Institut National d'Analyse de la Conjoncture, Haut Commissariat au Plan)(2011), NOTE DE CONJONCTURE N°18, pp. 45-47

<sup>74</sup> HCP(2008), LA FEMME MAROCAINE EN CHIFRES, p. 80.

<sup>75</sup> HCP(2008), LA FEMME MAROCAINE EN CHIFRES, p. 80.

<sup>76</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, pp. 20-21, 46

図表 23 世帯主の学歴別にみた年間平均消費額の違い（2006/2007 年）<sup>77</sup>



<sup>77</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 46

図表 24 世帯主の学歴別と一人あたり年間平均消費額階層の関係性 (2006/2007 年)<sup>78</sup>

Tableau CC 03 : Principales caractéristiques de la population alphabétisée selon le milieu de résidence et les classes de dépense annuelle par personne

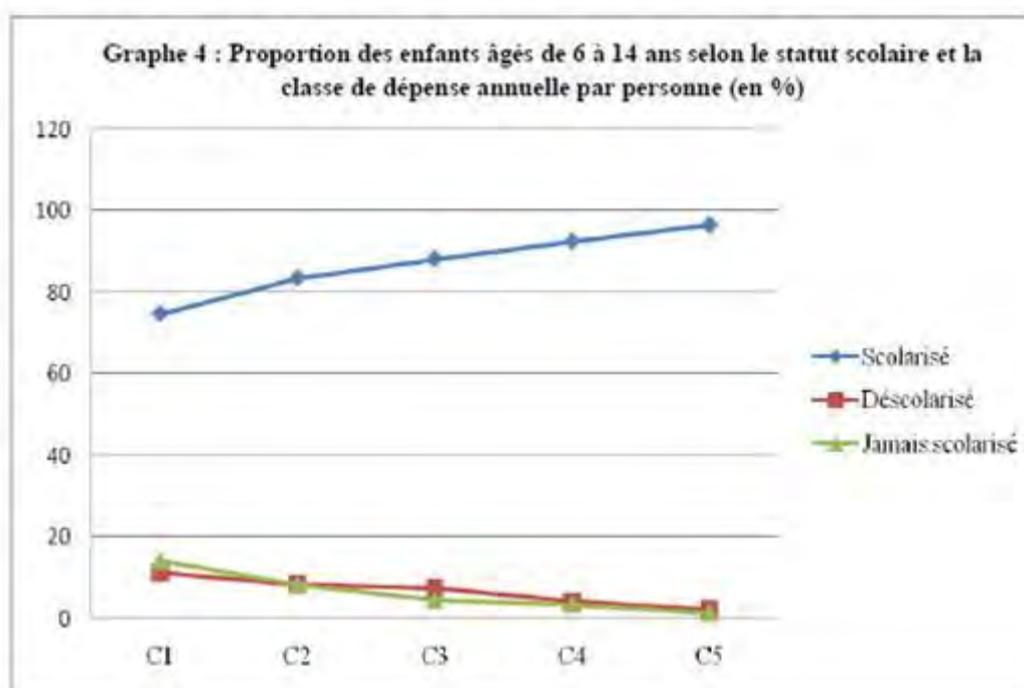
Ensemble

Indicateurs d'alphabétisation	Classes de la dépense annuelle par personne					
	C1	C2	C3	C4	C5	Total
<b>Taux (en %) d'alphabétisation des CM<sup>(1)</sup> selon le sexe</b>						
Hommes	34,4	42,9	53,4	61,4	78,8	56,8
Femmes	6,1	16,1	17,1	15,6	36,8	21,6
Ensemble	30,5	38,9	48,0	53,6	70,4	51,0
<b>Taux (en %) d'alphabétisation des CM selon l'âge</b>						
15 - 34 ans	45,1	62,0	67,0	73,5	92,0	72,4
35 - 59 ans	33,2	41,7	52,8	60,9	78,1	55,7
60 ans et plus	14,0	21,9	24,0	24,4	42,1	27,8
Total	30,5	38,9	48,0	53,6	70,4	51,0
<b>Taux (en %) d'alphabétisation des CM selon le niveau scolaire</b>						
Sans niveau	1,5	2,3	2,2	3,2	2,4	2,3
Primaire et collège	93,3	95,8	95,5	97,5	98,2	96,5
Secondaire	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
Supérieur	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
Autres niveaux	86,5	89,7	91,7	87,2	93,0	89,6
Total	30,5	38,9	48,0	53,6	70,4	51,0
<b>Taux (en %) d'alphabétisation de la population selon le type d'activité (15 ans et plus)</b>						
Actif occupé	38,6	46,5	58,1	63,1	79,8	56,9
Chômeur	71,5	83,9	89,0	92,2	93,6	87,1
Inactif	33,8	43,4	47,0	52,1	62,7	49,0
Total	38,9	47,9	56,1	60,4	72,7	55,8
<b>Taux (en %) d'alphabétisation de la population active occupée âgée de 15 ans et plus selon le statut professionnel</b>						
Salarié	54,2	63,2	76,2	78,7	90,2	74,1
Indépendant	29,3	38,1	46,2	52,8	67,5	46,1
Employeur	35,9	64,1	62,8	70,1	81,3	75,2
Aides familiales et apprentis	26,6	32,8	39,9	42,1	52,4	36,0
Autres actifs occupés	34,2	49,2	40,4	62,0	80,8	56,9
Total	38,9	47,9	56,1	60,4	72,7	55,8

<sup>(1)</sup> CM : Chef de ménage

<sup>78</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 72

図表 25 一人あたり年間平均消費額階層と子どもの就学率との関係性 (2006/2007 年)<sup>79</sup>



図表 26 世帯主の学歴別にみた一世帯当たりの所有資産の違い (2006/2007 年)<sup>80</sup>

Tableau EQ 03 : Taux d'équipement des ménages en biens durables selon le niveau scolaire du chef de ménage (en %) (suite)

Biens durables	Niveau scolaire du chef de ménage					Total
	Sans niveau	Fondamental	Secondaire	Supérieur	Autre niveau	
<b>Matériels de transports</b>						
Voiture	4,2	9,4	20,2	47,8	7,2	9,9
Vélocoteur	8,9	10,8	10,9	8,0	9,5	9,6
Bicyclette	18,7	20,8	15,1	21,0	20,0	19,3
<b>Appareils de communication</b>						
Téléphone fixe	6,9	13,2	26,7	47,8	7,3	12,9
Téléphone mobile	68,7	82,9	89,0	94,4	79,0	76,9
Répondeur	0,6	1,3	3,3	8,5	0,5	1,5
Fax	0,2	0,3	1,4	2,3	0,0	0,4

<sup>79</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 21

<sup>80</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 113

## 5. 年齢階層別

INAC-HCP(2011)によると、2009-2010年の間に、労働力人口に占める失業者は0.8%程増加している。この変化について、年齢層別にみると、15-24歳の若年層では失業率が0.5%減少している<sup>81</sup>。一方で、農村部における25-34歳の失業率は0.5%増加している。

また、上記の報告よりもややさかのぼるが、年齢階層別の失業者の割合をみると、1999-2007年の比較において、15-24歳の若年層に属する男性が男性失業者の約50%を占めている。また、女性では大きな違いがみられないものの、特に高齢層における失業者の割合が1999年時点では約25%であったが、2007年には32%に増加していることがわかる。<sup>82</sup>他方、15-24歳の女性失業者の割合は1999-2007年の間に10%程度改善されていることをみると、モロッコ政府が社会への女性参加の促進や社会的地位向上のための施策を実施しているものの、高齢の女性については必ずしも状況が改善していないものと考えられる。

図表 27 男女別・年齢階層別の失業率の変化（1999-2007年）<sup>83</sup>

### Structure des chômeurs selon l'âge et par sexe

Rural

Age	Femmes		Hommes	
	1999	2007	1999	2007
. 15-24 ans	33,3	24,5	53,7	50,9
. 25-34 ans	22,6	23,6	30,9	30,9
. 35-44 ans	18,2	19,9	10,2	10,6
. 45 ans et plus	25,9	32,0	5,2	7,6
. Total	100,0	100,0	100,0	100,0

Source: Enquête Nationale sur l'Emploi HCP

<sup>81</sup> Institut National d'Analyse de la Conjoncture, Haut Commissariat au Plan(INAC-HCP)(2011), NOTE DE CONJONCTURE N° 18 Juillet 2011, pp. 5-7

<sup>82</sup> HCP(2008), LA FEMME MAROCAINE EN CHIFRES, p. 80

<sup>83</sup> HCP(2008), LA FEMME MAROCAINE EN CHIFRES, p. 80

## 6. 職業別

HCP(2007)では、世帯主の就職状況や職業と一人あたり年間平均消費額階層との関係性を示した調査結果を掲載している。この調査結果を分析した記述はみられないが、過去に一度も就業経験のない者で最も貧しい下位 20%の貧困層に属する者の一人あたり年間平均消費額は 1,350MAD で、何らかの職業に就いている同様の階層の者と比べ、年間あたり約 2,000MAD 消費額が少ない事が示されている<sup>84</sup>。

業種別にみると、平均では、金融・不動産・情報関連産業に従事する者の一人あたり年間平均消費額が 3 万 2,725MAD と圧倒的に高くなっており、次いで、公務員・社会サービス供給部門従事者が 1 万 8,334MAD となっている。一方で、農業・漁業・林業等の 1 次産業では、7,628MAD、建設業・公共工事関連では、8,645MAD と非常に低くなっている。

しかし、最も貧しい下位 20%の貧困層で比較すると、年間平均支出額は、金融・不動産・情報関連産業に従事する者は同様に 4,347MAD と高いものの、商業が 4,074MAD と 2 番目に高く、次いで、農業・漁業・林業等が 3,680MAD となっている。その他サービス業や貿易・通信業が 3,550MAD を下回り最も低い業種となっている<sup>85</sup>。

---

<sup>84</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 130

<sup>85</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 130

図表 28 就職状況・職業と一人あたり年間平均消費額階層との関係性 (2006/2007 年) <sup>86</sup>

Tableau D 01 : Dépense annuelle moyenne par personne selon la classe de dépense, les caractéristiques du chef de ménage et le milieu de résidence (suite)

Ensemble (en DH)

Indicateur	Classe de dépense annuelle par personne					
	C1	C2	C3	C4	C5	Ensemble
<b>Type d'activité du chef de ménage</b>						
Actif occupé	3672	5878	8093	11457	27689	10927
Chômeur	3516	5701	8013	11668	22890	9961
Inactif	3692	5983	8192	11575	25559	12306
<b>Statut professionnel du chef de ménage</b>						
Salarié	3573	5914	8102	11464	28056	11804
Indépendant	3756	5836	8077	11438	25615	9149
Employeur	3906	6132	8169	11538	31654	22177
Aide familiale et apprenti	3247	5209	8929	10690	25740	11593
Autres situations	3604	6146	8010	12062	23075	11016
<b>Catégorie socio-professionnelle du chef de ménage</b>						
Responsables hiérarchiques de la fonction publique, directeurs et cadres de direction d'entreprises, cadres supérieurs et membres des professions libérales	3698	6074	7653	12473	48211	43463
Cadres moyens	4517	6277	8505	12290	29699	24253
Employés	3566	5998	8000	11486	25238	13516
Commerçants, intermédiaires commerciaux et financiers	4110	5906	8062	11344	25178	12217
Exploitants agricoles, pêcheurs, forestiers, chasseurs et travailleurs assimilés	3758	5813	8090	11479	22133	7949
Artisans et ouvriers qualifiés des métiers artisanaux (non compris les ouvriers de l'agriculture)	3610	5924	8110	11314	22267	9779
Ouvriers et manœuvres agricoles et de la pêche (y compris les ouvriers qualifiés)	3494	5834	7879	11323	19645	6583
Conducteurs d'installations et de machines et ouvriers de l'assemblage	3780	6107	8226	11656	21805	11308
Manœuvres non agricoles, manutentionnaires et travailleurs des petits métiers	3568	5846	8142	11366	20605	7781
Chômeurs n'ayant jamais travaillé	1350	5267		12482	20876	12167
<b>Branche d'activité économique du chef de ménage</b>						
Agriculture, forêt et pêche	3680	5819	8042	11424	21959	7628
Industrie (y compris l'artisanat)	3616	6002	8084	11493	24004	11622
Bâtiments et travaux publics	3579	5912	8146	11486	30084	8645
Commerce	4074	5852	8105	11490	25812	11890
Transports et communications	3543	5892	8245	11513	25673	12342
Activités financières, immobilières, informatiques et services fournis ...	4347	6231	8356	10990	54692	32725
Administration générale, services sociaux fournis à la collectivité	3572	6044	8096	11597	30225	18334
Autres services	3529	5897	8045	11229	25627	10522

<sup>86</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 130

## 7. 社会サービス・基本インフラへのアクセスと貧困

モロッコ政府は社会サービスと基本的インフラへのアクセスの向上として、農村部におけるインフラ整備の遅れへの対応を進めてきた。特に特徴的な取組として、電気、飲料水、道路等の整備について、恵まれない地域（BAJ1 : Barnamaj Aoulaouiyat Jtimaiya I - premier programme de priorités sociales) の発展のために 1996 年から特別プログラムを実施してきた。BAJ1 実施地域は 14 地域とされた。ただし、貧困層の 40%程度しか支援できていないという点が課題として認識されている<sup>87</sup>。その後も、政府により貧困削減との関連で、社会サービス・基本インフラへのアクセスの改善に向けた取組が行われている<sup>88</sup>。

図表 29 BAJ1 実施地域の特徴 (1994 年)<sup>89</sup>

Tableau 4.1: Classement BAJ par Province en termes des différents indicateurs sociaux et de pauvreté en 1994

Provinces BAJ	Classement de pauvreté (1= maximal)		Classement de santé		Classement d'éducation (1= minimal)			Classement d'infrastructure 1994 (1= minimal)	
	Total	Rural	TMI (1997) (1= maximal)	Médecins par habitant (1= minimal)	Taux d'alphabétisme	Inscriptions école primaire	Part des filles dans les inscriptions	% ayant l'électricité	% accès rural à l'eau
Al Haouz	16	27	21	--	2	5	4	5	--
Al Hoceima	28	30	9	20	15	21	19	21	15
Azilal	14	23	3	2	4	6	6	10	10
Chefchaouen	2	6	7	10	8	3	11	6	2
Chichaoua	5	10	5	--	1	1	3	3	--
Essaouira	8	14	13	12	3	4	5	8	6
El Kelaa	23	34	43	3	5	7	12	9	42
Sraghna									
Quarzazate	22	28	16	16	13	63	10	26	31
Safi	29	26	33	22	21	12	21	54	3
Sidi Kacem	19	33	39	17	19	25	17	13	13
Taroudant	41	51	10	7	6	13	8	11	14
Taza	21	29	15	21	16	29	14	19	22
Tiznit	24	32	4	14	11	26	9	15	7
Zagora	13	21	--	--	69	--	--	12	33

Note: \*\*indique des données manquantes

### (1) 飲料水へのアクセス<sup>90</sup>

都市部において、飲料水が整備された住環境を得ている人は、1990 年の 70%から 2007 年には 85.7%まで増加している。しかし、農村部では依然として 11.3%と低い状態が続いている。これは農村部の住宅が分散して立地していることによる。

水道がない家庭では、ワジ、泉、灌漑用水、井戸などに頼っている。農村部では、58.9%の家庭が共同井戸を始めとする水道水以外で生活している。これらの家庭から水源までの平均距離は 0.7km である。このように社会インフラの未整備が農村部の社会的弱者にとって飲料水へのアクセスを困難にしている。

<sup>87</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 31

<sup>88</sup> Royaume du Maroc- UN(2006), PLAN-CADRE DES NATIONS UNIES AU MAROC 2007-2011 BILAN COMMUN DE PAYS, p. 16, 28

<sup>89</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 43

<sup>90</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 28

## (2) 下水道・ごみ処理設備へのアクセス<sup>91</sup>

2007年時点で、国全体では下水道整備率は54%となっている。しかし、地域別にみると、都市部の85%に対し、農村部はわずかに2.5%にとどまっている。

国全体では57.5%の世帯が自治体の家庭ごみ処理サービスを享受しているが、都市部と農村部の格差は激しく、都市部が90.4%であるのに対し、農村部では、家庭ごみの処理サービスにアクセスできる世帯は3%程度しか存在していない。

このように農村部では、特に下水道・ごみ処理設備の整備が不十分であるため、都市部と比べ、下水道やごみ処理設備の恩恵にあずかることが難しいと言える。

## (3) 保健・医療サービスへのアクセス<sup>92</sup>

傷病の際に医者にかかるのは最も貧しい下位20%の貧困層で62.0%に対し、最も豊かな上位20%の富裕層は85.0%となっている。また、専門医にかかる割合も最も豊かな上位20%の富裕層は60.4%であるが、最も貧しい下位20%の貧困層は30.3%となっている。

都市部と農村部の医療格差は診察場所までの距離に依存するところが大きい。

医療機関までの全国平均距離は21.9kmだが、都市部の平均13.8kmに対し、農村部は38.5kmとなっている。その結果、医療機関までの移動に要する時間は、都市部では平均35分であるのに対し、農村部では44.1%が1時間以上かかっている（平均77分）。

なお、保健・医療に対する支出について、最も豊かな上位20%の富裕層が1年に平均1993.5MADを支出しているが、最も貧しい下位20%の貧困層では199.63MADにとどまっている。また、HCP（2007）では、生活水準により医療サービス受給状況が異なることが示されている。たとえば、病気になった際、最も豊かな上位20%の富裕層は85.0%が医療機関にて診察を受けるが、最も貧しい下位20%の貧困層では同様のケースで医療機関を利用する者は62.0%にとどまっている<sup>93</sup>。

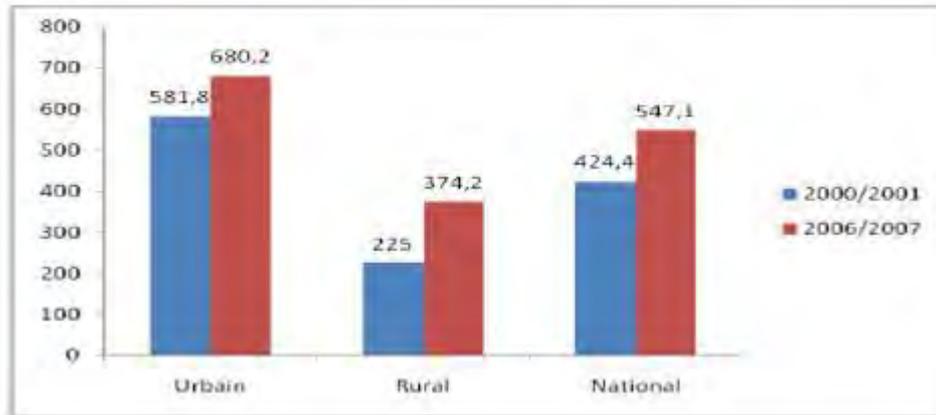
<sup>91</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 29

<sup>92</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 37, 40, 123

<sup>93</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 38

図表 30 都市部と農村部の医療・保健サービスへの支出額（2000/2001、2006/2007 年）<sup>94</sup>

Graphique 3 : Evolution de la dépense annuelle moyenne par personne en soins de santé entre 2001 et 2007 (en DH)



<sup>94</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 41

図表 31 保健・医療サービスの利用状況と一人あたり年間平均消費額階層との関係性  
(2006/2007 年) <sup>95</sup>

Tableau S 02 : Demande de soins de santé selon les classes de dépense annuelle moyenne par personne

Indicateurs	Classe de dépense annuelle moyenne par personne					
	C1	C2	C3	C4	C5	Total
<b>Taux de morbidité</b>						
<b>Selon le milieu de résidence</b>						
Urban	9,3	13,0	13,2	15,4	20,1	15,3
Rural	8,2	10,6	12,4	15,0	20,7	11,7
<b>Selon le sexe</b>						
Masculin	6,9	9,5	10,5	12,5	16,6	11,2
Féminin	10,0	13,8	15,2	17,9	23,7	16,1
<b>Selon l'état matrimonial</b>						
Célibataire	6,3	9,0	9,3	11,4	15,1	10,0
Marié (e)	11,1	14,0	16,6	18,8	23,7	17,1
Divorcé (e)	10,8	17,7	24,2	10,5	26,8	19,3
Veuf (ve)	18,7	28,8	23,0	31,3	38,5	28,9
<b>Selon l'âge</b>						
moins de 15 ans	7,3	11,0	10,8	15,1	19,5	12,2
15-34	5,7	7,0	9,2	9,1	13,6	8,8
35-59	11,5	15,2	17,1	18,6	22,3	17,3
60 et plus	18,5	24,6	22,7	29,1	35,6	27,2
Ensemble	8,5	11,7	12,9	15,3	20,2	13,7
<b>Personnes (en %) selon la nature de la maladie déclarée</b>						
Maladie passagère	68,5	63,0	63,2	64,2	60,7	63,3
Maladie chronique	28,6	32,5	33,9	32,9	35,1	33,1
Blessure	3,0	4,5	2,9	2,9	4,2	3,6
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
<b>Malades selon le sexe</b>						
Masculin	38,5	39,7	39,9	40,4	40,0	39,8
Féminin	61,5	60,3	60,1	59,6	60,0	60,2
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
<b>Malades selon l'âge</b>						
moins de 15 ans	27,9	26,3	21,3	23,7	20,4	23,2
15-34	24,3	22,6	27,2	22,0	23,1	23,7
35-59	33,0	33,6	37,7	36,6	36,2	35,7
60 et plus	14,9	17,5	13,8	17,6	20,2	17,3
Ensemble	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
<b>Malades selon l'état matrimonial</b>						
Célibataire	43,8	44,3	39,9	40,2	37,0	40,3
Marié (e)	47,6	44,8	50,4	50,2	50,6	49,1
Divorcé (e)	1,2	2,0	2,3	0,9	2,8	1,9
Veuf (ve)	7,4	8,9	7,4	8,7	9,6	8,6
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0

<sup>95</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 124

図表 32 保健・医療サービスへのアクセスと一人あたり年間平均消費額階層との関係性  
(2006/2007年)<sup>96</sup>

Tableau S 02 : Demande de soins de santé selon les classes de dépense annuelle moyenne par personne (suite)

Indicateurs	Classe de dépense annuelle moyenne par personne					
	C1	C2	C3	C4	C5	Total
<b>Malades selon la distance parcourue pour aller au lieu de consultation</b>						
Moins d'1 km	13,4	19,4	24,3	19,6	19,3	19,7
1 km à moins de 3 km	21,4	22,4	24,6	24,7	26,6	24,6
3 km à moins de 5 km	9,3	11,2	10,3	11,0	11,0	10,7
5 km à moins de 10 km	16,1	14,5	10,9	14,4	15,4	14,3
10 km à moins de 20 km	11,3	11,2	9,8	9,0	8,0	9,4
20 km et plus	28,5	21,4	20,1	21,3	19,8	21,3
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
Temps moyen mis pour aller au lieu de consultation (en mn)	70	52	46	45	46	49
Distance moyenne parcourue pour aller au lieu de consultation (en Km)	22,3	17,2	20,7	21,7	24,9	21,9
<b>Pourcentage des personnes ayant une couverture médico-sanitaire</b>						
Selon le milieu de résidence						
Urbain	4,9	8,4	18,8	27,7	44,3	25,0
Rural	1,0	1,1	4,9	8,1	12,5	3,8
Selon le sexe						
Masculin	2,4	4,7	13,3	21,4	40,4	16,5
Féminin	2,0	4,5	12,7	20,3	36,7	15,2
Selon l'âge						
moins de 15 ans	2,7	5,0	17,0	29,1	48,8	18,3
15-34	1,7	3,5	9,7	14,5	29,1	11,5
35-59	2,4	5,9	15,1	24,5	45,0	20,2
60 et plus	1,0	4,0	8,1	12,8	28,7	12,6
Ensemble	2,2	4,6	13,0	20,8	38,5	15,8
<b>Taux de couverture à une assurance maladie obligatoire parmi les personnes couvertes</b>						
Oui	100,0	100,0	99,0	99,4	99,4	99,4
Non	0,0	0,0	1,0	0,6	0,6	0,6
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
<b>Personnes en % ayant une couverture médico-sanitaire obligatoire selon l'organisme de prévoyance</b>						
CNOPS	65,6	74,1	60,8	60,1	60,9	61,6
CNSS	9,7	15,9	23,8	26,0	21,9	22,6
CMIM	0,0	0,0	2,6	1,2	1,5	1,5
Régime interne spécifique	1,5	3,1	4,9	5,6	5,7	5,3
Organisme privé	10,2	4,1	3,5	6,5	7,4	6,4
Autre	13,0	2,7	4,3	0,6	2,6	2,6
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
<b>Personnes en % ayant une couverture médico-sanitaire obligatoire selon le mode de couverture</b>						
Adhérent	23,3	29,6	26,5	29,9	40,5	34,3
Bénéficiaire	76,7	70,4	73,5	70,1	59,5	65,7
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0

<sup>96</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 126

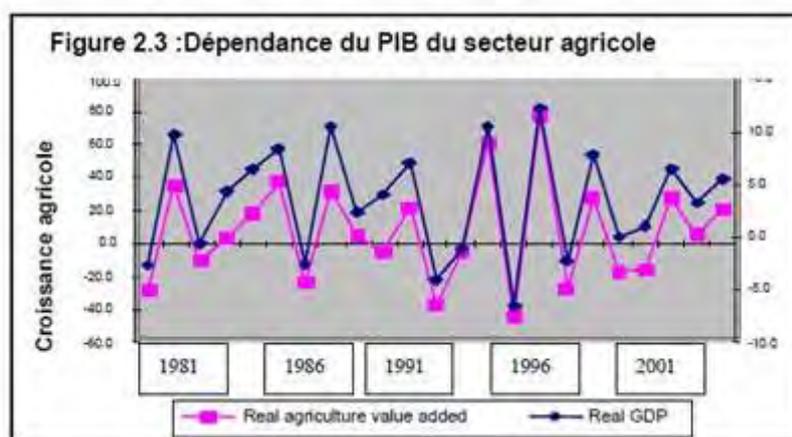
## VI. 貧困に影響を与えている国内外の要因

### 1. 農業セクターの付加価値の低さ<sup>97</sup>

経済成長と貧困削減のためには農業製品に付加価値を与え、農業の不安定性を抑える必要があると指摘されている。モロッコにおいて、経済成長は、農業セクターの成長と深くかかわっており、この状況は中期的視点で大きく変化することはないとみられている。

全人口の40%にあたる貧困層の60%は農村部で生活しており、農業で生計を立てていることから、これらのセクターが高付加価値化を推し進めることと貧困問題への影響は深く関係していると認識されている。

図表 33 農業分野の成長率と実質 GDP 成長率の関係性 (1981-2001 年)<sup>98</sup>



### 2. 地理・自然環境的条件による影響<sup>99</sup>

土壌劣化のために農業効率が低下し、食料安全保障に対する脅威となっている。また、地球温暖化との関係等から砂漠化が進み、国土の92%が脅威にさらされている。その他、洪水の危険性が高い地域が約400ヶ所指定されており、これらの自然災害に対する取組みが必要とされている。また、それらの農業に対する影響が懸念されている。

### 3. 穀物に関する脱保護主義による貧困リスク<sup>100</sup>

モロッコ政府は、近年、アメリカとのFTA締結など、諸外国に対する農作物の輸入に関

<sup>97</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 1

<sup>98</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 13

<sup>99</sup> Royaume du Maroc (2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, pp. 46-48

<sup>100</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, pp. 57-58, 61, 63, 113

する関税撤廃の動きを見せるなど、穀物等の脱保護主義をとる可能性を示している。

時限付きで EU からの小麦の輸入に関する関税を停止する等の取組もみられる。EU とは 2000 年 3 月に FTA を発効しており、2012 年までに段階的に農業分野の自由化を目指すことがうたわれている。

WB (2004) では、農作物（特に穀物）に関する自由貿易化による格差問題への影響について検討している。農作物の脱保護主義については、消費者が恩恵を受ける反面、生産者は打撃を受けることが予測されている。特に、農村部への影響は大きく、農作物（特に、穀物類）の完全自由化を行った場合、格差を広げることになり、ジニ係数も上昇するという試算が示されている。

図表 34 貿易自由化の度合いによる農作物価格変化（予測値）<sup>101</sup>

Annexe 6.1: Changements des prix prévus en raison de la réforme du commerce des produits agricoles au Maroc

Secteurs	% changement prix consommateurs				% changement prix producteurs			
	Politique 1	Politique 2	Politique 3	Politique 4	Politique 1	Politique 2	Politique 3	Politique 4
Céréales et produits céréaliers	-3,062	-7,786	-12,811	-26,691	-2,858	-7,193	-11,744	-24,107
Légumes frais	-0,714	-0,884	-1,051	-1,128	-0,580	-0,767	-0,871	-0,756
Fruits	-0,637	-0,681	-0,683	-0,139	-0,429	-0,301	-0,104	0,843
Produits laitiers et oeufs	-0,472	-0,414	-0,257	0,751	-0,505	-0,487	-0,333	0,637
Viande (rouge et volaille)	-0,320	-0,109	0,332	1,896	-0,306	-0,078	0,357	1,936
Sucre	-0,200	0,100	0,400	1,300	-0,368	-0,378	-0,354	-0,094
Huile alimentaire	-0,671	-1,064	-1,405	-2,225	-0,632	-0,998	-1,336	-2,061
Poissons frais et conditionnés	0,000	0,696	1,300	2,996	0,000	0,600	1,300	2,881
Autres produits agricoles et conditionnés	-0,369	-0,402	-0,421	-0,635	0,268	1,294	2,475	5,388
Services	0,142	0,500	0,758	1,460	0,056	0,500	0,844	1,708
Energie, électricité et eau	-0,060	0,540	1,140	2,580	-0,051	0,549	1,149	2,597
Autres industries	0,000	0,600	1,200	2,800	0,000	0,600	1,200	2,793

Note: Les baisses des droits douaniers sur les céréales importées sont de 10%, 30%, 50% et 100% pour les politiques 1, 2, 3 et 4 respectivement

<sup>101</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 113

図表 35 完全貿易自由化のケースにおける地域別収入の変化<sup>102</sup>

Tableau 6.1 : Moyenne des gains résultant de la dé-protection céréalière totale, par région (en part de la consommation du ménage)

Région	Total	Urbain	Rural	20 % de ménages les plus pauvres
Souss-Massa-Daraa	-1,31	0,42	-2,4	-1,42
Gharb-Chrarda-Beni Hssen	-2,16	0,02	-3,86	-4,5
Chaouia-Ouardigha	-4,18	0,32	-8,31	-11,03
Tensift Al Haouz	-0,87	1,12	-2,17	0,43
Oriental	-0,87	0,38	-2,78	0,09
G.Casablanca	0,48	0,41	2,41	-
Rabat-Salé-Zemmour-Zaer	-0,59	0,33	-4,98	1,06
Doukala Abda	-3,13	0,76	-5,92	-3,82
Tasla Azilal	-6,93	-0,71	-11,04	-1,38
Meknes Tafil	-4,89	-0,19	-11,35	-8,12
Fes-Boulemane	-2,4	1,05	-11,52	-13,43
Taza-Al Hoceima-Taounate	-4,47	-0,32	-5,78	-7,03
Tanger-Tetouan	-2,94	1,31	-9,4	-22,72
Total	-2,14	0,45	-5,71	-10,39

#### 4. 社会不安：「アラブの春」

2011年第一四半期において、モロッコの失業率は全国平均で8.7%（都市部：13.0%、農村部：4.0%）となっている。公共工事、農業部門を除き、2011年第一四半期の雇用の口数はやや鈍化し、サービス部門、特に商業・サービス分野は雇用が1.6%減少した。失業者数は99万人（季節労働者は含まず）で前期比では、-6%を記録している。これには新卒者の雇用状況が7.6%改善したことが大きく寄与している<sup>103</sup>。しかし、格差問題等とも関連し、依然として、若年層を中心とした社会不安が内在化している。特に、2010年からアラブ系の国々で起こってきた「アラブの春」にみられる若年層を中心とした社会不安が引き続き起こることが懸念される<sup>104</sup>。

<sup>102</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 63

<sup>103</sup> INAC-HCP(Institut National d'Analyse de la Conjoncture, Haut Commissariat au Plan)(2011), NOTE DE CONJONCTURE N°18, pp. 45-47

<sup>104</sup> Royaume du Maroc ウェブサイト, Dahir n° 1-11-91 du 27 chaabane 1432 ( 29 juillet 2011 ) portant promulgation du texte de la Constitution. [http://www.sgg.gov.ma/scan\\_bo\\_fr.aspx?id=1112](http://www.sgg.gov.ma/scan_bo_fr.aspx?id=1112) (2011/DEC/09 アクセス) .

## VII. モロッコにおける JICA 事業の優先分野と貧困問題との関係

モロッコにおける JICA 事業の優先分野として、「①経済成長」、「②社会的・経済的格差の是正」に着目して情報をとりまとめる。

### 1. 経済成長

モロッコは、2005 年、繊維等伝統セクター・自動車部品等の成長セクター開発を主眼においた振興計画 (Plan Emergence) を策定した他、2008 年、自給自足率向上及び農産物輸出高増加を目標とする農業近代化計画 (Plan Maroc Vert)、2009 年、雇用創出、工業分野の GDP 増加、輸出増加等を目標とする産業振興のための国家プログラム (Plan National pour l'Emergence Industrielle) 等を発表してきた。このように 2004 年の INDH 策定以降にも雇用創出等に貢献するための産業振興策を複数打ち出している。

モロッコ政府 (2008) 「Plan National pour l'Emergence Industrielle」では、2015 年の目標値として、雇用創出 22 万人、工業関連の GDP を 500 億 MAD 増加させること等が掲げられている<sup>105</sup>。

また、西側諸国との関係性を良好に保つイスラム教国の一つで、国外からの投資も堅調である。経済成長は 1998 年以降、年平均 4%水準を維持している。

非農業分野の生産性も成長を続けており、1998-2006 年に 2.3%上昇している<sup>106</sup>。

このような経済成長に伴い、1999 年の 13.8%から 2008 年第一四半期の 9.6%と失業率も改善されている<sup>107</sup>。2011 年第一四半期においては、8.7% (都市部 13.0%、農村部 4.0%) とさらに失業率が減少している<sup>108</sup>。

ただし、公共工事、農業部門を除き、2011 年第一四半期の雇用の口数はやや鈍化している。サービス部門では雇用が 1.6%減少している。失業者数は 99 万人 (季節労働者は含まず) で前期比では、-6%を記録している。これには新卒者の雇用状況が 7.6%改善したことが大きく寄与している<sup>109</sup>。

しかし、格差問題等とも関連し、依然として、若年層を中心とした社会不安が内在化している。特に、2010 年からアラブ系の国々で起こってきた「アラブの春」にみられる若年層を中心とした社会不安が引き続き起こることが懸念される<sup>110</sup>。

経済成長の貧困問題・格差問題については、都市部と農村部における差異がみられるこ

<sup>105</sup> Royaume du Maroc(2008), Pact National pour l'Emergence industrielle Contrat-Programme 2010-2015, p.14 <http://www.cri-agadir.com/elements/dossier/pacteindustriel.pdf>. (2011/DEC/09 アクセス)

<sup>106</sup> Royaume du Maroc(2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 11 <http://www.undg.org/docs/9793/Rapport-OMD-Maroc-2007.pdf>

<sup>107</sup> Royaume du Maroc(2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement, p. 12 <http://www.undg.org/docs/9793/Rapport-OMD-Maroc-2007.pdf>

<sup>108</sup> INAC-HCP(Institut National d'Analyse de la Conjoncture, Haut Commissariat au Plan)(2011), NOTE DE CONJONCTURE N°18, pp. 45-47

<sup>109</sup> INAC-HCP(Institut National d'Analyse de la Conjoncture, Haut Commissariat au Plan)(2011), NOTE DE CONJONCTURE N°18, pp. 45-47

<sup>110</sup> Royaume du Maroc ウェブサイト、Dahir n° 1-11-91 du 27 chaabane 1432 ( 29 juillet 2011 ) portant promulgation du texte de la Constitution

とは記述のとおりであるが、貧困削減への貢献が期待できる経済成長を都市部・農村部のそれぞれで推進することが重要である。

特に、全人口の40%にあたる貧困層の60%は農村部で生活しており、農業で生計を立てていることから、これらのセクターが高付加価値化を推し進めることと貧困問題への影響は深く関係していると認識されている<sup>111</sup>。

モロッコにおける経済成長は、農業セクターの成長と深くかかわっていることを示すデータも存在している。また、この状況は中期的視点で大きく変化することはないとみられている。このような分析結果を踏まえ、農業製品に付加価値を与えること、農業の不安定性を低めることの必要性が指摘されている。

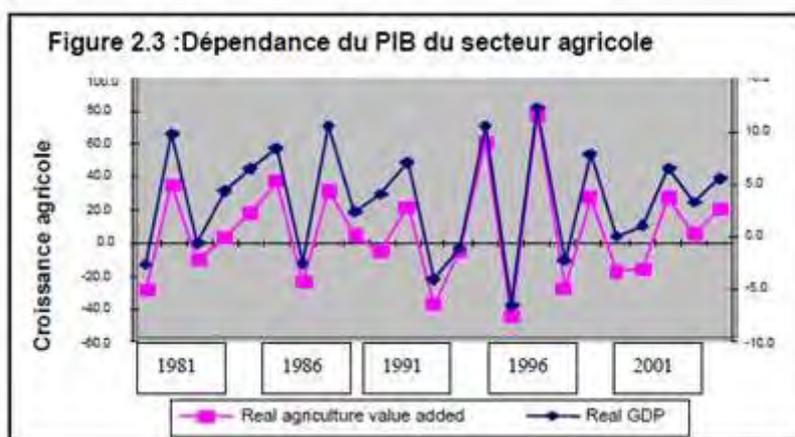
このような状況とあいまって、モロッコでは、経済成長に伴う流通量の増加が著しく、EU及び地中海諸国との自由貿易協定の締結に伴う国内の産業競争力強化が喫緊の課題となっている。

高速道路、鉄道網整備といった基幹インフラ整備に対する施策の必要性は高く、今後は、人材育成や制度整備等のソフト面でのさらなる投資も求められると言える。

また、経済成長に伴って水資源に対する需要が増加する一方、2009年には例外的な降水量を記録している。近年は旱魃の発生が常態化しており、今後の持続可能な成長のためには、限られた水資源の有効利用が必要不可欠である。

さらに、産業の発展に伴う人口集中による都市環境の悪化も顕著であり、都市環境の改善や都市スラム問題への対策は、持続的な経済成長には欠かせないものであることから、優先課題として認識されている<sup>112</sup>。

図表 36 農業分野の成長率と実質 GDP 成長率の関係性（1981-2001年）（再掲）<sup>113</sup>



<sup>111</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 1

<sup>112</sup> JICA 地域部へのヒアリング結果より。

<sup>113</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 13

## 2. 経済的格差是正

モロッコ政府-UN (2006) において、モロッコ政府は貧困削減に向けた政策枠組みを導入し、この中で、所得貧困および社会的脆弱性の改善に向け、都市部・農村部、性別、年齢階層別等にみられる格差問題に対応することをうたっている<sup>114</sup>。

具体的な施策として、2005年5月、現国王であるモハメド6世は、INDH(Initiative nationale pour le développement humain)「人間開発に係る国家イニシアティブ」を発表し、人間開発を中心とした貧困削減と地域間格差等の様々な社会的格差を是正することを目標に掲げた。

2005-2010年を対象期間として定められた同イニシアティブを受け、MDGsの重点項目にもとりあげられている開発プロセスへの女性参加の促進、女性の役割の再認識等について様々な施策が実施されることとなった。

これらの施策の実行にあたり、重点キーワードとして掲げられているのが、「人権」、「民主主義」、「女性と子どもの権利」、「産業の高度化」、「バランスの取れた国土開発」等である。

### (1) 地域間格差

格差の実態については、各種報告書が状況分析を行っている。まず、いずれの報告書においても、重要な視点として取り上げられているのが、都市部・農村部における地域間格差である。WB(2004)では、貧困層の60%が農村部において生活していることを報告している。彼らの多くは農業で生計を立てており、農業セクターにおける高付加価値化を推進することが格差是正のために必要であるという指摘も見られる<sup>115</sup>。

農村部では、建築家による専門的な設計を行っていない建造物の建設を制限する法改正により、農村部の男性の農業以外の収入源が失われ、これが失業の増加につながっている。<sup>116</sup>また、社会保険も整っていないため、このような農村部の貧困層が一度病気にかかると、貧困から抜け出せなくなる。このような層では、診察のための交通費を捻出したり、治療を受けるために都市近郊に移住する場合もみられるが、その際に、貯金やその他の資産を売り払うというケースも存在する<sup>117</sup>。子どもを養ったり、高齢になって医療費の支出が増えるような年齢層では、特に脆弱性が高い<sup>118</sup>。

農村部における貧困は、気候変動や乾燥化による影響とも関連している。これらの環境要因により、農作物の生産量が影響を受け、収入が減少している。農村部の基本的インフラの欠如も経済成長を阻む要因となっている。<sup>119</sup>農業の75%は灌漑農業によるもので、こ

<sup>114</sup> Royaume du Maroc- UN(2006), PLAN-CADRE DES NATIONS UNIES AU MAROC 2007-2011 BILAN COMMUN DE PAYS, p. 16, 28

<sup>115</sup> WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques, p. 1

<sup>116</sup> WB(2007), SE SOUSTRAIRE A LA PAUVRETE AU MAROC, p. vi, vii

<sup>117</sup> WB(2007), SE SOUSTRAIRE A LA PAUVRETE AU MAROC, p. ix

<sup>118</sup> WB(2007), SE SOUSTRAIRE A LA PAUVRETE AU MAROC, p. x

<sup>119</sup> WB(2007), SE SOUSTRAIRE A LA PAUVRETE AU MAROC, p. 1

れにより農村部の 50%が職を得ている。オウム-エル-ルビア(Oum Er Rbia)河がその流域 32 万 2,700ha を潤し、国内で生産されるテンサイの 60%、オリーブの 40%、牛乳の 40%の生産がこの水資源に依存している。しかし、給水効率の悪さなどで、農業生産効率は低く、灌漑の開発余地はあるため、政府は 2008 年に Plan Maroc Vert を策定し、WB の融資を受け、農業生産効率の向上や高付加価値化を目指している<sup>120</sup>。

一方、都市部においても、地域内格差が社会問題となっている。都市部には、年率 4%程度で農村部からの人口流入が続いている。しかし、就職ができずに、都市部で失業者となるケースが増加している。これらの層は貧困層となるリスクが比較的高いグループであると言える。モロッコ政府はスラム街と関連した貧困問題に対して、問題を悪化させるような対策をとる例もみられる。たとえば、メサウ(Messaoud)では、違法であるという理由で、スラム街には電気を供給することを停止したという報告もみられる<sup>121</sup>。

## (2) ジェンダー格差

また、モロッコにおいては、ジェンダーの視点から格差問題について捉えることも重要である。モロッコでは、過去 10 年間に渡り、女性の識字率の向上や社会参加促進のためのプログラムが集中的に展開されてきた<sup>122</sup>。

モロッコにおける失業者の絶対数は近年減少しているが、特定の層については、失業問題が継続的に発生している可能性がある<sup>123</sup>。HCP(2008)によると、特に、女性失業者に占める 15-24 歳の女性失業者の割合は 1999-2007 年の間に 10%程度改善されている。一方、45 歳以上の女性失業者の割合が増加していることを指摘している<sup>124</sup>。

男性については 1999-2007 年の間で失業率に大きな違いはみられないものの、15-24 歳の層が男性失業者の約 50%を占めている。

男女別・年齢階層別の失業者の割合をみることで、特定の層が厳しい状態に置かれていることが推測される。

## (3) 世代間格差

直近の報告書では、INAC-HCP(2011)が 2009-2010 年の間に、労働力人口に占める失業者は 0.8%程増加したことを報告しており、これを年齢層別にみると、15-24 歳の若年層では

<sup>120</sup> WB(2010), DOCUMENT D'EVALUATION DE PROJET D'UN PRÊT PROPOSE POUR UN MONTANT DE 51,60 MILLIONS D'EUROS (CONTRE-VALEUR DE 70 MILLIONS DE \$EU) AU ROYAUME DU MAROC POUR LE PROJET DE MODERNISATION DE L'AGRICULTURE IRRIGUEE DANS LE BASSIN DE L'OUUM ER RBIA, pp.1-2  
[http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/IB/2011/06/28/000356161\\_20110628014815/Rendered/PDF/449160REPLACEMENT020100use0same0info.pdf](http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/IB/2011/06/28/000356161_20110628014815/Rendered/PDF/449160REPLACEMENT020100use0same0info.pdf) (2011/DEC/27 アクセス)

<sup>121</sup> WB(2007), SE SOUSTRAIRE A LA PAUVRETE AU MAROC, p. 50

<sup>122</sup> Royaum du maroc- UN(2006), PLAN-CADRE DES NATIONS UNIES AU MAROC 2007-2011 BILAN COMMUN DE PAYS, p. 16, 28

<sup>123</sup> INAC-HCP(Institut National d'Analyse de la Conjoncture, Haut Commissariat au Plan)(2011), NOTE DE CONJONCTURE N°18, pp. 45-47

<sup>124</sup> HCP(2008), LA FEMME MAROCAINE EN CHIFFRES, p. 80

失業率が 0.5%減少している。一方で、農村部における 25-34 歳では、失業率が 0.5%増加し、地域別と年齢階層別にみた場合に格差が生じている可能性を示唆している<sup>125</sup>。

その他の視点として、学歴と貧困・格差の問題を指摘する報告もある。HCP (2007) は、世帯主の学歴が高い程、一人当たりの年間消費額も高くなることや、世帯主の学歴の違いによりその子どもの就学率に差があることを示している<sup>126</sup>。

#### **(4) 民族間格差**

民族構成については、全人口の約 60%がアラブ人、約 40%がベルベル人であるが、貧困問題や格差問題について、民族間で特に大きな違いはみられない<sup>127</sup>。

#### **(5) 経済的格差と社会サービスへのアクセス**

経済的格差は、社会サービスへのアクセスにも影響していることが示されている。HCP (2007) では、生活水準により医療サービスの受給状況が異なることを報告している。たとえば、病気になった際、最も豊かな上位 20%の富裕層は 85.0%が医療機関にて診察を受けるが、最も貧しい下位 20%の貧困層では同様のケースで医療機関を利用する者は 62.0%にとどまっている<sup>128</sup>。

---

<sup>125</sup>Institut National d'Analyse de la Conjuncture, Haut Commissariat au Plan(INAC-HCP)(2011), NOTE DE CONJONCTURE N° 18 Juillet 2011, pp. 5-7

<sup>126</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, pp. 20-21, 46

<sup>127</sup> JICA 地域部へのヒアリング結果より。

<sup>128</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 38

図表 37 地域別にみた一世帯当たりの年間消費額の違い（1991-2007年）（再掲）<sup>129</sup>

Tableau 2 : Evolution de la structure des dépenses des ménages entre 1991 et 2007 selon le milieu de résidence (en%)

Grands groupes de biens et services	1991			1998			2001			2007		
	urbain	rural	total									
Alimentation	40,3	54,7	45,5	38,4	54,2	43,1	37,9	49,9	41,3	36,8	49,3	40,6
Habillement	6,3	5,9	6,1	5,7	5,1	5,5	5	4,3	4,8	3,5	3,1	3,4
Habitation et énergie	18,5	15,4	17,4	23,4	16,7	21,4	22,6	21	22,1	21,1	18,3	20,3
Equipements ménagers	4,6	3,9	4,3	3,9	3,9	3,9	3,8	4	3,8	3,7	3,6	3,6
Hygiène et soins médicaux	7,8	4,6	6,7	7,6	5	6,9	8,3	5,6	7,6	7,6	6,3	7,2
Transport et communications	6,6	4,7	5,9	7	5,2	6,5	8,2	5,6	7,5	12,8	9	11,6
Enseignement, culture et loisirs	7,4	3	5,8	5,6	2,1	4,5	4,3	1,8	3,6	5,2	2,3	4,4
Autres dépenses de biens et services	5,2	5,6	5,5	6,3	6	6,2	5,9	5,1	5,7	6	6,7	5,9
Dépenses non destinées à la consommation	3,3	2,2	2,8	2,1	1,8	2	4	2,7	3,6	3,3	2,3	3
<b>Total</b>	<b>100,0</b>											

図表 38 地域別にみた一世帯当たりの所有資産の違い（再掲）<sup>130</sup>

Tableau EQ 01 : Taux d'équipement des ménages en biens durables selon le milieu de résidence (en %) (suite)

Biens durables	Milieu de résidence		
	Urbain	Rural	Ensemble
<b>Matériels de transports</b>			
Voiture	13,0	4,7	9,9
Vélocoteur	8,8	10,9	9,6
Bicyclette	17,3	22,5	19,3
<b>Appareils de communication</b>			
Téléphone fixe	19,9	1,2	12,9
Téléphone mobile	84,4	64,5	76,9
Répondeur	2,3	0,2	1,5
Fax	0,5	0,3	0,4

<sup>129</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 54

<sup>130</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 105

図表 39 男女別・年齢階層別の失業率の変化（1999-2007年）（再掲）<sup>131</sup>

Structure des chômeurs selon l'âge et par sexe

Rural

Age	Femmes		Hommes	
	1999	2007	1999	2007
. 15-24 ans	33,3	24,5	53,7	50,9
. 25-34 ans	22,6	23,6	30,9	30,9
. 35-44 ans	18,2	19,9	10,2	10,6
. 45 ans et plus	25,9	32,0	5,2	7,6
. Total	100,0	100,0	100,0	100,0

Source: Enquête Nationale sur l'Emploi HCP

<sup>131</sup> HCP(2008), LA FEMME MAROCAINE EN CHIFRES, p. 80

図表 40 世帯主の学歴別と一人あたり年間平均消費額階層の関係性 (再掲) <sup>132</sup>

Tableau CC 03 : Principales caractéristiques de la population alphabétisée selon le milieu de résidence et les classes de dépense annuelle par personne

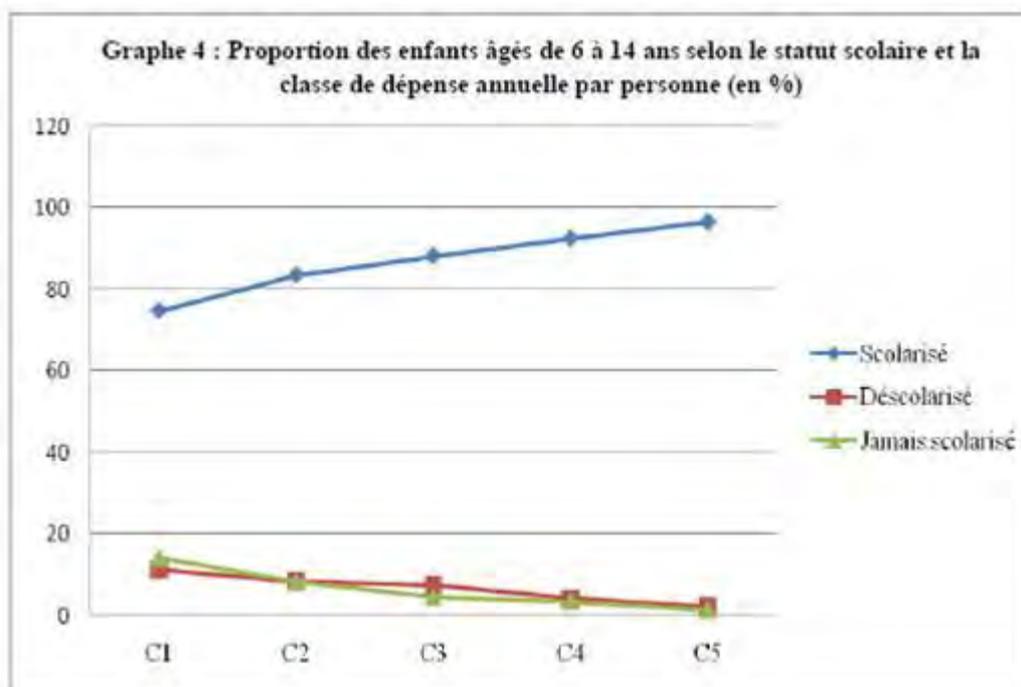
Ensemble

Indicateurs d'alphabétisation	Classes de la dépense annuelle par personne					Total
	C1	C2	C3	C4	C5	
<b>Taux (en %) d'alphabétisation des CM<sup>(1)</sup> selon le sexe</b>						
Hommes	34,4	42,9	53,4	61,4	78,8	56,8
Femmes	6,1	16,1	17,1	15,6	36,8	21,6
Ensemble	30,5	38,9	48,0	53,6	70,4	51,0
<b>Taux (en %) d'alphabétisation des CM selon l'âge</b>						
15 – 34 ans	45,1	62,0	67,0	73,5	92,0	72,4
35 – 59 ans	33,2	41,7	52,8	60,9	78,1	55,7
60 ans et plus	14,0	21,9	24,0	24,4	42,1	27,8
Total	30,5	38,9	48,0	53,6	70,4	51,0
<b>Taux (en %) d'alphabétisation des CM selon le niveau scolaire</b>						
Sans niveau	1,5	2,3	2,2	3,2	2,4	2,3
Primaire et collège	93,3	95,8	95,5	97,5	98,2	96,5
Secondaire	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
Supérieur	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
Autres niveaux	86,5	89,7	91,7	87,2	93,0	89,6
Total	30,5	38,9	48,0	53,6	70,4	51,0
<b>Taux (en %) d'alphabétisation de la population selon le type d'activité (15 ans et plus)</b>						
Actif occupé	38,6	46,5	58,1	63,1	79,8	56,9
Chômeur	72,5	83,9	89,0	92,2	93,6	87,1
Inactif	33,8	43,4	47,0	52,1	62,7	49,0
Total	38,9	47,9	56,1	60,4	72,7	55,8
<b>Taux (en %) d'alphabétisation de la population active occupée âgée de 15 ans et plus selon le statut professionnel</b>						
Salarié	54,2	63,2	76,2	78,7	90,2	74,1
Indépendant	29,3	38,1	46,2	52,8	67,5	46,1
Employeur	35,9	64,1	62,8	70,1	81,3	75,2
Aides familiales et apprentis	26,6	32,8	39,9	42,1	52,4	36,0
Autres actifs occupés	34,2	49,2	40,4	62,0	80,8	56,9
Total	38,9	47,9	56,1	60,4	72,7	55,8

<sup>(1)</sup> CM : Chef de ménage

<sup>132</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 72

図表 41 一人あたり年間平均消費額階層と子どもの就学率との関係性（再掲）<sup>133</sup>



図表 42 世帯主の学歴別にみた一世帯当たりの所有資産の違い（再掲）<sup>134</sup>

Tableau EQ 03 : Taux d'équipement des ménages en biens durables selon le niveau scolaire du chef de ménage (en %) (suite)

Biens durables	Niveau scolaire du chef de ménage					Total
	Sans niveau	Fondamental	Secondaire	Supérieur	Autre niveau	
<b>Matériels de transports</b>						
Voiture	4,2	9,4	20,2	47,8	7,2	9,9
Vélocycle	8,9	10,8	10,9	8,0	9,5	9,6
Bicyclette	18,7	20,8	15,1	21,0	20,0	19,3
<b>Appareils de communication</b>						
Téléphone fixe	6,9	13,2	26,7	47,8	7,3	12,9
Téléphone mobile	68,7	82,9	89,0	94,4	79,0	76,9
Répondeur	0,6	1,3	3,3	8,5	0,5	1,5
Fax	0,2	0,3	1,4	2,3	0,0	0,4

<sup>133</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 21

<sup>134</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 113

図表 43 保健・医療サービスの利用状況と一人あたり年間平均消費額階層との関係性<sup>135</sup>

Tableau S 02 : Demande de soins de santé selon les classes de dépense annuelle moyenne par personne

Indicateurs	Classe de dépense annuelle moyenne par personne					
	C1	C2	C3	C4	C5	Total
<b>Taux de morbidité</b>						
<b>Selon le milieu de résidence</b>						
Urbain	9,3	13,0	13,2	15,4	20,1	15,3
Rural	8,2	10,6	12,4	15,0	20,7	11,7
<b>Selon le sexe</b>						
Masculin	6,9	9,5	10,5	12,5	16,6	11,2
Féminin	10,0	13,8	15,2	17,9	23,7	16,1
<b>Selon l'état matrimonial</b>						
Célibataire	6,3	9,0	9,3	11,4	15,1	10,0
Marié (e)	11,1	14,0	16,6	18,8	23,7	17,1
Divorcé (e)	10,8	17,7	24,2	10,5	26,8	19,3
Veuf (ve)	18,7	28,8	23,0	31,3	38,5	28,9
<b>Selon l'âge</b>						
moins de 15 ans	7,3	11,0	10,8	15,1	19,5	12,2
15-34	5,7	7,0	9,2	9,1	13,6	8,8
35-59	11,5	15,2	17,1	18,6	22,3	17,3
60 et plus	18,5	24,6	22,7	29,1	35,6	27,2
Ensemble	8,5	11,7	12,9	15,3	20,2	13,7
<b>Personnes (en %) selon la nature de la maladie déclarée</b>						
Maladie passagère	68,5	63,0	63,2	64,2	60,7	63,3
Maladie chronique	28,6	32,5	33,9	32,9	35,1	33,1
Blessure	3,0	4,5	2,9	2,9	4,2	3,6
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
<b>Malades selon le sexe</b>						
Masculin	38,5	39,7	39,9	40,4	40,0	39,8
Féminin	61,5	60,3	60,1	59,6	60,0	60,2
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
<b>Malades selon l'âge</b>						
moins de 15 ans	27,9	26,3	21,3	23,7	20,4	23,2
15-34	24,3	22,6	27,2	22,0	23,1	23,7
35-59	33,0	33,6	37,7	36,6	36,2	35,7
60 et plus	14,9	17,5	13,8	17,6	20,2	17,3
Ensemble	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
<b>Malades selon l'état matrimonial</b>						
Célibataire	43,8	44,3	39,9	40,2	37,0	40,3
Marié (e)	47,6	44,8	50,4	50,2	50,6	49,1
Divorcé (e)	1,2	2,0	2,3	0,9	2,8	1,9
Veuf (ve)	7,4	8,9	7,4	8,7	9,6	8,6
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0

<sup>135</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 124

図表 44 保健・医療サービスへのアクセスと一人あたり年間平均消費額階層との関係性<sup>136</sup>

Tableau S 02 : Demande de soins de santé selon les classes de dépense annuelle moyenne par personne (suite)

Indicateurs	Classe de dépense annuelle moyenne par personne					
	C1	C2	C3	C4	C5	Total
<b>Malades selon la distance parcourue pour aller au lieu de consultation</b>						
Moins d'1 km	13,4	19,4	24,3	19,6	19,3	19,7
1 km à moins de 3 km	21,4	22,4	24,6	24,7	26,6	24,6
3 km à moins de 5 km	9,3	11,2	10,3	11,0	11,0	10,7
5 km à moins de 10 km	16,1	14,5	10,9	14,4	15,4	14,3
10 km à moins de 20 km	11,3	11,2	9,8	9,0	8,0	9,4
20 km et plus	28,5	21,4	20,1	21,3	19,8	21,3
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
Temps moyen mis pour aller au lieu de consultation (en mn)	70	52	46	45	46	49
Distance moyenne parcourue pour aller au lieu de consultation (en Km)	22,3	17,2	20,7	21,7	24,9	21,9
<b>Pourcentage des personnes ayant une couverture médico-sanitaire</b>						
Selon le milieu de résidence						
Urbain	4,9	8,4	18,8	27,7	44,3	25,0
Rural	1,0	1,1	4,9	8,1	12,5	3,8
Selon le sexe						
Masculin	2,4	4,7	13,3	21,4	40,4	16,5
Féminin	2,0	4,5	12,7	20,3	36,7	15,2
Selon l'âge						
moins de 15 ans	2,7	5,0	17,0	29,1	48,8	18,3
15-34	1,7	3,5	9,7	14,5	29,1	11,5
35-59	2,4	5,9	15,1	24,5	45,0	20,2
60 et plus	1,0	4,0	8,1	12,8	28,7	12,6
Ensemble	2,2	4,6	13,0	20,8	38,5	15,8
<b>Taux de couverture à une assurance maladie obligatoire parmi les personnes couvertes</b>						
Oui	100,0	100,0	99,0	99,4	99,4	99,4
Non	0,0	0,0	1,0	0,6	0,6	0,6
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
<b>Personnes en % ayant une couverture médico-sanitaire obligatoire selon l'organisme de prévoyance</b>						
CNOPS	65,6	74,1	60,8	60,1	60,9	61,6
CNSS	9,7	15,9	23,8	26,0	21,9	22,6
CMIM	0,0	0,0	2,6	1,2	1,5	1,5
Régime interne spécifique	1,5	3,1	4,9	5,6	5,7	5,3
Organisme privé	10,2	4,1	3,5	6,5	7,4	6,4
Autre	13,0	2,7	4,3	0,6	2,6	2,6
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0
<b>Personnes en % ayant une couverture médico-sanitaire obligatoire selon le mode de couverture</b>						
Adhérent	23,3	29,6	26,5	29,9	40,5	34,3
Bénéficiaire	76,7	70,4	73,5	70,1	59,5	65,7
Total	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0	100,0

<sup>136</sup> HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007, p. 126

## 添付 1. 参考文献リスト

JICA 研究所 (2011)、国別主要指標 モロッコ

<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html>

HCP(2005), Démographie Marocaine : tendances passées et perspectives d'avenir,

[http://www.rdh50.ma/fr/pdf/rapport\\_thematique/Demographie/demographieA4corrige.pdf](http://www.rdh50.ma/fr/pdf/rapport_thematique/Demographie/demographieA4corrige.pdf)

HCP(2007), ENQUETE NATIONALE SUR LES REVENUS ET LES NIVEAUX DE VIE DES MENAGES 2006/2007,

[http://www.hcp.ma/downloads/Niveau-de-vie-et-pauvrete-Enquete-nationale-sur-les-niveau-x-de-vie-des-menages\\_t13111.html](http://www.hcp.ma/downloads/Niveau-de-vie-et-pauvrete-Enquete-nationale-sur-les-niveau-x-de-vie-des-menages_t13111.html) (ウェブサイト内にリンクあり)

HCP(n.d.), Dynamique de la pauvreté 1985-2007,

<http://www.hcp.ma/file/111923/>

(本報告書のみ発効年次が不明だが、HP へのアップロードの状況、引用文献・記述内容から 2008 年のものと推定できる。)

HCP(2008), LA FEMME MAROCAINE EN CHIFFRES,

<http://www.hcp.ma/downloads/> (ウェブサイト内にリンクあり)

HCP(2010), Carte de la pauvreté 2007,

<http://www.hcp.ma/file/111925/>

HCP ウェブサイト、

[http://www.hcp.ma/glossary/Pauvrete-vulnerabilite-et-inegalite\\_gi2103.html](http://www.hcp.ma/glossary/Pauvrete-vulnerabilite-et-inegalite_gi2103.html)

Institut National d'Analyse de la Conjoncture, Haut Commissariat au Plan(INAC-HCP)(2011), NOTE DE CONJONCTURE N° 18 Juillet 2011,

[http://www.hcp.ma/Note-de-conjoncture-N-18-Juillet-2011\\_a757.html](http://www.hcp.ma/Note-de-conjoncture-N-18-Juillet-2011_a757.html) (ウェブサイト内にリンクあり)

Royaum du maroc(2008), Objectifs du Millénaire pour le Développement,

<http://www.undg.org/docs/9793/Rapport-OMD-Maroc-2007.pdf>

Royaum du Maroc(2008), Pact National pour l'Emergence industrielle Contrat-Programme 2010-2015,

<http://www.cri-agadir.com/elements/dossier/pacteindustriel.pdf>

Royaum du maroc ウェブサイト, Dahir n° 1-11-91 du 27 chaabane 1432 ( 29 juillet 2011 ) portant promulgation du texte de la Constitution,

[http://www.sgg.gov.ma/scan\\_bo\\_fr.aspx?id=1112](http://www.sgg.gov.ma/scan_bo_fr.aspx?id=1112)

Royaum du maroc Coordination Nationale de l'INDH(2011), Rapport d'activités 2005-2010, [http://www.indh.gov.ma/fr/doc/RAPPORT\\_DACTIVITE\\_INDH\\_2005\\_2010.pdf](http://www.indh.gov.ma/fr/doc/RAPPORT_DACTIVITE_INDH_2005_2010.pdf)

Royaum du maroc- UN(2006), PLAN-CADRE DES NATIONS UNIES AU MAROC 2007-2011 BILAN COMMUN DE PAYS,

<http://www.undg.org/docs/7451/Morocco%20UNDAF.pdf>

UNDP ウェブサイト、International Human Development Indicators、

<http://hdrstats.undp.org/en/indicators/103106.html>

UNDP ウェブサイト、<http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/morocco.pdf>

WB(2004), Rapport sur la pauvreté : Comprendre les dimensions géographiques de la pauvreté pour en améliorer l'appréhension à travers les politiques publiques,

[http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/IB/2005/01/12/00112742\\_20050112144949/Rendered/PDF/282230Poverty0Report0french0final.pdf](http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/IB/2005/01/12/00112742_20050112144949/Rendered/PDF/282230Poverty0Report0french0final.pdf)

<http://go.worldbank.org/IKF1HEQYK0>

WB(2007), SE SOUSTRAIRE A LA PAUVRETE AU MAROC,

<http://siteresources.worldbank.org/INTMOROCCOINFRENCH/Resources/Moving.out.of.poverty.French.DEF.pdf>

<http://go.worldbank.org/GK7X6OW6D0>

WB(2010), DOCUMENT D'EVALUATION DE PROJET D'UN PRÊT PROPOSE POUR UN MONTANT DE 51,60 MILLIONS D'EUROS (CONTRE-VALEUR DE 70 MILLIONS DE \$EU) AU ROYAUME DU MAROC POUR LE PROJET DE MODERNISATION DE L'AGRICULTURE IRRIGUEE DANS LE BASSIN DE L'OUM ER RBIA,

[http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/IB/2011/06/28/00356161\\_20110628014815/Rendered/PDF/449160REPLACEM0020100use0same0info.pdf](http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/IB/2011/06/28/00356161_20110628014815/Rendered/PDF/449160REPLACEM0020100use0same0info.pdf)

## 添付 2. 主要な情報源リスト

### モロッコ共和国

首相・官房府 <http://www.pm.gov.ma/fr/>

政府 <http://www.maroc.ma/PortailInst/Ar/>

財務省 <http://www.mfie.gov.ma/>

高等計画委員会（統計局） <http://www.hcp.ma/>

### 国際機関

国連開発グループ 国別チーム モロッコ <http://www.pnud.org.ma/>

### 貧困データ

世界銀行データ <http://data.worldbank.org/country/timor-leste>

国連公式 MDG データ <http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Data.aspx>